

# 2018（平成30）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 1 事業の総括

当団体は、藤沢のまちづくりを進めるべく、市民活動団体の組織基盤強化や活動支援、ステップアップのための方策を考え、様々な市民活動支援事業を展開してまいりました。

各支援事業が、藤沢に、そして時代に必要なものと考え、バランスを取りながら事業を進めてまいりましたが、団体設立20年（※）という節目にあたり、事業全体を俯瞰し、選択と集中を図る時期に来ていると考えます。※1998年設立、2001年法人登記

2018年度、以下に挙げる事業を重点的に展開する中で、事業考察を含め報告をさせていただきます。

### （1）市民活動の発展と継続のための支援を実施する。

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の管理運営をお任せいただくことが決まり、第4期指定管理運営1年目（5年間）となりました。市民活動の発展と継続のための支援として、それぞれの施設の特性を活かした市民活動支援をしていきます。

同じく場の提供事業として昨年度準備していた、貸会議室「フジサワラボ」（当団体事務所の別階）がスタートしましたが、1年間の運営を通してみると、収益化については見通しがない状況であり、次年度の本事業の継続可否については検討をしています。

市民活動の発展には、自分のまちのことを「自分事化」する必要がありますが、そのためには課題・問題を解決するためのアイデア・提案をする「場」が必要になります。

2017年9月に事業終了した「藤沢市市民電子会議室（愛称：こみゅっとフジサワ）」は藤沢市における市民提案制度を担う存在として、ウェブ上のオンライン掲示板サービスとオフライン交流会等の運営を20年近く展開し、市民提案が数多く実現している実績があります。

当団体は「市民電子会議室」における市民提案の仕組みを研究するため、「フジソン（フジサワ・アイデアソン）」を企画、実施をすることで、市民の意見・アイデア等の「思い」をカタチにする方法を検討しています。次年度以降も、本企画をブラッシュアップして進めてまいります。

(2) 市民活動への参加機会を拡充すること、またそれに伴う調査・研究を実施する。

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への参加アプローチを強化しました。

学生等に向けた NPO インターンシップ事業は 5 年目を迎えました。すでに様々な地域において本事業が周知されており、今年度は他地域から本プログラムの活用に関してご相談や、事業の集大成というべき運営ノウハウをまとめた報告書を発行する等、藤沢だけの実施ではない広がりを見せています。

また、当団体が神奈川県総合計画の一つである「人生 100 歳時代の設計図」における「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」のメンバーとして参画する中で、企業で働いている現役世代に向けた支援プログラムの開発事業を単年度委託しました。市民活動や地域活動への参加のきっかけとして、次年度以降の継続的な実施を検討しています

「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」において、藤沢市と協働事業で進めている「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業により、全世代に向けた市民活動への参加機会促進につなげることができました。

※かながわ人生 100 歳時代ネットワーク

「人生 100 歳時代」において、県民一人ひとりが自分自身の人生の設計図を描き、生涯にわたり輝き続けることができる社会を実現するため、行政、大学、企業、NPO 等が連携し協働して、学べる場や機会を「つくり」、また、活躍できる場に「つなげる」しくみを創出します。

(県 HP より抜粋) [http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/100yife/life\\_network.html](http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r5k/100yife/life_network.html)

(3) 非営利組織の評価に関する研究と、評価による支援を実施する。

非営利組織を取り巻く状況の変化の中で、ひと際大きな動きを見せているのが、「休眠預金の活用」です。同制度の重要なポジションである、資金活用団体(※)が決定されたことも記憶に新しいでしょう。(2019年1月11日)

制度がスタートする中で、制度を活用する市民活動団体は、申請する前、または活用した後、自組織の組織基盤・ガバナンスを内外に示さなければいけない時期がいよいよ訪れます。そこで重要になってくる「組織診断」のツールが今年度、ついに形となりました。

「自己診断シート「17の視点」」と呼ばれる本ツールは、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)との連携事業により完成しました。

※ (一財) 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

2018年1月1日に休眠預金等活用法が全面施行されたことに伴い、同法に定める指定活用団体となることを企図して、同年7月に(一社)日本経済団体連合会(経団連)により設立し、資金活用団体に選定された。<https://www.janpia.or.jp/>

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」に基づく指定活用団体の指定について(内閣府HPより)

[https://www5.cao.go.jp/kyumin\\_yokin/katsuyou/katsuyou\\_index.html](https://www5.cao.go.jp/kyumin_yokin/katsuyou/katsuyou_index.html)

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人)	-----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)	---	認定特定非営利活動法人
(公財)	-----	公益財団法人	(一財)	-----	一般財団法人
(一社)	-----	一般社団法人	(株)	-----	株式会社
(有)	-----	有限会社			

## 2 事業の内容

### (1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業（支出額 3,212,722 円）

#### ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

小規模交流会である「NPO交流サロン」や大規模交流会「クリスマス交流会」、「かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム(後述)」における寄贈式等、交流の場を計5回開催し、市民活動団体同士、また教育機関、企業など他セクターとのつながりを推進した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市役所本庁舎、さがみはら市民活動サポートセンター
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座（NPO マネジメント講座）を5回、PC 関連講座（IT サポート講座）を11回実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### ウ 地域版組織診断システムの運用

昨年度に引き続き、組織診断ツールを活用した事業化に向けてツール作成を進めた。加えて、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)よりA「組織基盤強化ツールの開発と普及に関する業務」及びB「地域におけるグッドガバナンス認証制度普及促進プログラム業務」を委託することで、組織診断ツール(自己診断シート「17の視点」)の作成及び試験運用を進め、実用化に向けて動き出している。

##### A「組織基盤強化ツールの開発と普及に関する業務」

藤沢を含めた5地域の中間支援組織と、同地区で活動する非営利組織に向けて、当会が作成した「17の視点(試作版)」の使用感等を調査した。

##### B「地域におけるグッドガバナンス認証制度普及促進プログラム業務」

2019年2月16日、藤沢地区においてJCNEの認証制度説明会を実施・運営した。説明会の他、「非営利組織の評価」に関連する情報の提供等を行った。

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、フジサワ名店ビル、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 組織診断演習実施NPO法人、市民活動団体関係者

#### エ 市民活動団体等への人材派遣による活動支援事業

(一社) 協働プラットフォーム委託事業「Web ラジオちよだに関する制作支援業務」を委託し、法人事務所や JR 神田駅インフォメーションセンター内神田駅ナカスタジオ等において、Web ラジオ番組の企画・取材・制作支援業務を行った。(単年度事業)

- ①日時 平成30年10月1日～平成31年3月31日
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 ラジオリスナー、東京都千代田区神田近辺の非営利組織

#### オ 市民活動団体等への物品等の寄贈による活動支援事業

市民活動団体への情報化支援及び市民活動団体を支援する組織の支援力向上を目的に、「認定 NPO 法人イーパーツ (東京都)」と神奈川県内 NPO 支援センター (※) が協力し、リユース PC 寄贈プログラムを実施。当法人は、神奈川プログラム運営事務局として各組織との調整等を行った。募集：年間 1 回、寄贈 PC 数 55 台、寄贈団体 44 台、寄贈式&講習会 1 回

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内会議室他、相模原市けやき会館 研修室
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・市民活動支援に興味のある者

参考：プログラムに参加しているNPO支援センター一覧（参加順）

藤沢市市民活動推進センター、ちがさき市民活動サポートセンター  
 おだわら市民交流センターUMECO、大和市民活動センター  
 座間市民活動サポートセンター、ひらつか市民活動センター  
 市民活動センターあやせ、さがみはら市民活動サポートセンター  
 鎌倉市市民活動センター、逗子文化プラザ市民交流センター  
 いせはら市民活動サポートセンター

## カ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営を行い、7,365,039 円の資金調達を支援した。起案する団体にとっては、財政的側面だけではなく、組織内の経営資源を棚卸しすることになり、基盤強化としての成果を感じ取れた1年となった。運営会社の変更により、寄付型・購入型、が扱えるようになり今後は寄付型の需要取り込みを課題として捉えている。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
みんなでつくる逗子海岸花火大会 実行委員会	258,000	25%	64人	2018/4/8	2018/5/25
星山プロジェクト	1,459,000	29%	115人	2018/5/15	2018/7/28
逗子アートネットワーク (ZAN)	2,072,000	103%	267人	2018/8/7	2018/9/28
NPO 法人アズヴェール藤沢スポーツ クラブ	1,405,500	46%	169人	2019/2/1	2019/3/15
(株) カヤック「まちの保育園 鎌倉」	2,170,539	108%	124人	2019/1/23	2019/3/15

## キ SAVE JAPANプロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

全国の希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「損保ジャパン日本興亜(株)(東京都)」と「認定NPO法人日本NPOセンター(東京都)」との協働事業の神奈川県実施事業として、「(N) ゆい(神奈川県茅ヶ崎市)」を3年間サポートしている。2018年9月までは2年目の活動として実施し、茅ヶ崎漁港周辺にて砂草の植栽会を2回開催した(2018年5月12日(土)23名参加、6月9日(土)75名参加)。2018年10月からの3年目は、同会場での植栽会(11月10日(土)51名参加)、2019年2月23日(土)に名店ビルにて「湘南海岸カントリーコードを考える交流会」(44名参加)を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている団体と参加市民

## ク 災害復興活動団体への支援事業

市内各種イベント内での被災地製作グッズ等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に 8 台(※1)の PC を整備・再生を行った。平成 30 年 7 月豪雨被災地も加えた復興支援物産市として被災者や被災事業者の食品や雑貨の販売(※2)を通じた被災地支援を実施。レンタルボックス「おはこ」(年間)での委託販売を実施した。

また、平成 30 年 7 月豪雨に際しては、全国中間支援組織のネットワークを活かし、岡山・広島に当団体職員を派遣し、現地の災害ボランティアセンター運営支援等を実施した。

①日時	年間
②場所	(株)有隣堂トレアージュ白旗店、レンタルボックス「おはこ」、 ゆくり庵、藤沢市市民活動推進センター、各イベント会場 倉敷市災害ボランティアセンター、NPO法人岡山NPOセンター事務所 広島市災害ボランティアセンター
③従事者人員	4名
④受益対象者	復興支援事業に興味があり、公益的な市民活動を行っている又は 興味のある団体(※)と個人

### ※1：寄贈団体(4 団体)

- |            |                  |
|------------|------------------|
| ・はっぴーあいらんど | ・NPO 法人 ancommon |
| ・長後自治会     | ・三富士町自治会         |

### ※2：取引先団体一覧

- ・NPO 法人応援のしっぽ・(一社)つむぎや・たみこの海パック
- ・(有)コンテナおおあみ・(株)ガールズライフラボ
- ・南三陸復興ダコの会・(株)みなり・(株)瀬戸内ジャムズガーデン
- ・(株)ジョンブル・(株)気仙沼ほてい

## ケ 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力(審査会等への参加、アドバイス等)を行った。

①日時	年間
②場所	助成組織の事務所他
③従事者人員	4名
④受益対象者	各種助成組織(※)

※参考：参加助成プログラム等

- ・(公財) かながわ生き生き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・公益信託ひらつか市民活動ファンド・綾瀬市・相模原市・二宮町・藤沢市

## (2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業 (支出額 927,783 円)

### ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を3,042件(※1)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、9,660件(※2)発信を行った。

引き続き、レディオ湘南(藤沢エフエム放送株式会社)の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信(51回)を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算150回を超えて、定着してきたように思う。

- ①日時 年間随時
- ②場所 情報の届く範囲
- ③従事者人員 10名
- ④受益対象者 市民活動に興味のある者

※1：収集情報数：3,042件

※持込形態内訳

来館：537件、郵便：1,844件、庁内メール：260件、FAX：3件 Eメール：27件  
スタッフ持込：371件

※情報形態内訳

団体PR 255件、発行物 1,206件、イベント 1,297件  
ボランティア募集 15件、NPO支援情報(助成金等) 252件、その他 17件

※2：情報提供数：9,662件

※内訳

情報ラック 1,648件 掲示板 1,300件  
ファイリング 2,760件 メールマガジン 444件  
HP(イベント情報) 1,302件 ニュースレター 217件(NPO支援情報)  
情報クリップ 182件(イベント情報、募集情報等) タウンニュース掲載 12件  
市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))  
ボランティア情報 20件(ボランティアーズ 22号)  
ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 94件  
レディオ湘南「palette」による情報発信 51回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等



## イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

### ①事業評価の活用状況に関する調査

藤沢市市民活動推進センター事業の一環として、「2018（平成30）年度事業評価の活用状況に関する調査」を推進センターに登録する493団体および、市内に主たる事務所を置くNPO法人106法人を対象に実施した。※

※但し、493団体のうち藤沢市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人は100法人を含む。（2018年9月29日現在）、また、藤沢市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人は、2018年8月1日現在の内閣府NPO法人ポータルサイトより抜粋した。

参考：<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/search>

### ②市民提案制度の運用に向けての検証

『2017（平成29）年度「市民提案制度」の運用に向けた研究実施報告書』に、“バーチャル”と“リアル”な空間を活かした市民提案制度の必要性を説いた。その中でも特に、リアルな場としてモデルとすべき、まちづくりの取り組みの1つに（N）カマコン（神奈川県鎌倉市）が実施している「カマコン式ブレスト（※）」がある。

「カマコン式ブレスト」をもとに、藤沢らしさを加味した取り組みとして、今回、「フジソン（フジサワ・アイデアソン）2018」を実施し、4名がアイデアを発表した。

※まちを活性化するためのアイデアを発表し、ジブンゴトとして、発表に対し更なるアイデア出しを行う仕組み

No.	氏名	所属	提案名
1	■■■■■■■■■■	(N) 幼児武道教育振興会理事長	開かれた保育園（保育園を中心とした街づくり）
2	■■■■■■■■■■	ワークショップラボ湘南代表	ふじさわイイネ！基金
3	■■■■■■■■■■	弥勒寺町内会会長、 弥勒寺夢クラブ会長	名前があったら素敵だな
4	■■■■■■■■■■ (ゴリラせんせい)	紙芝居師・保育士	紙芝居で藤沢に笑顔を！ ～紙芝居師ゴリラせんせい～

### ③市民活動支援に関する研究

昨年度同様、他市NPO支援センターへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転手法の構築及び市民活動支援に関する研究を行っている。

- ①日時                   ①2018年10月10日(水)～2018年11月10日(土)  
                          ②2018年10月1日(月)～2018年12月15日(土)  
                          ③年間
- ②場所                   ①及び②藤沢市内、③逗子文化プラザ市民交流センター
- ③従事者人員           5名
- ④受益対象者           市民活動団体および市民

#### ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間22回参加した。また、民間中間支援組織をはじめ、行政関係者など6団体(※)の視察を受け入れた。

※宇都宮市まちづくりセンター(管理運営：(NPO法人)宇都宮まちづくり工房)、(NPO法人)ひろしまNPOセンター、いわくに市民活動センター、片瀬市民センター、片瀬地区人材・情報バンクセンター、(NPO法人)こまつNPOセンター

- ①日時                   年間随時
- ②場所                   藤沢市内
- ③従事者人員           5名
- ④受益対象者           スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他

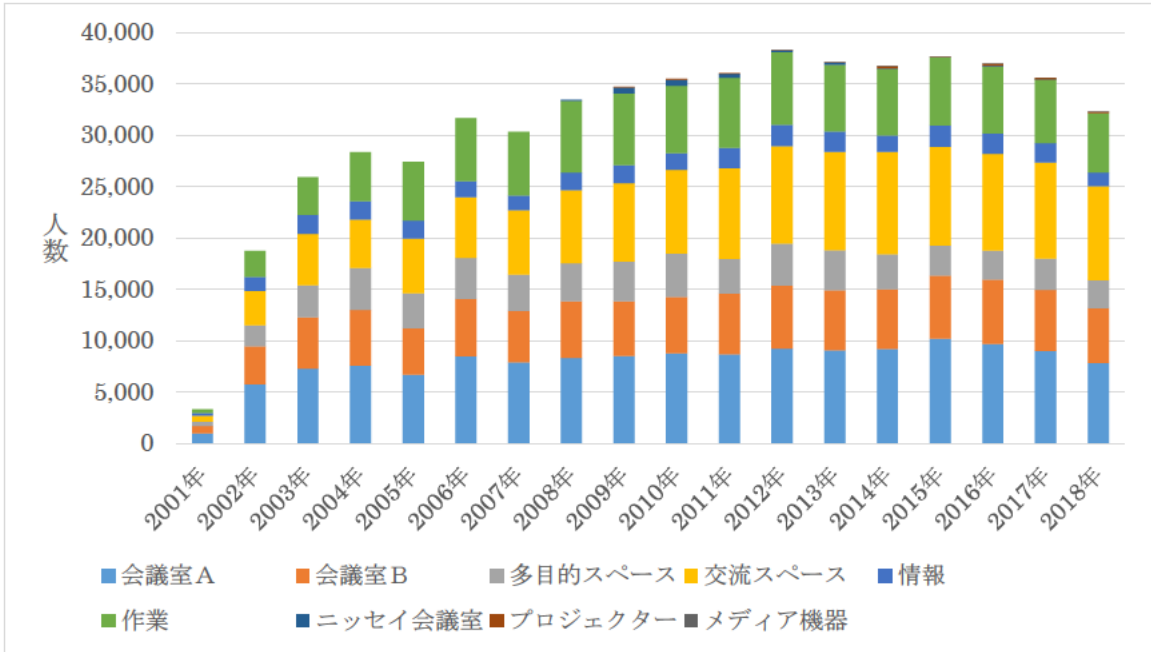
#### (3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業(支出額 41,008,169円)

##### ア 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2017年10月17日(火)に行われた「藤沢市市民活動支援施設指定管理者公開プレゼンテーション」を経て、藤沢市より「指定管理者指定等決定通知書」を頂き、2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定された。今年度は1年目の管理運営となる。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

- ①日時                   年間(開館308日)
- ②場所                   市民活動推進センター
- ③従事者人員           15名
- ④受益対象者           公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

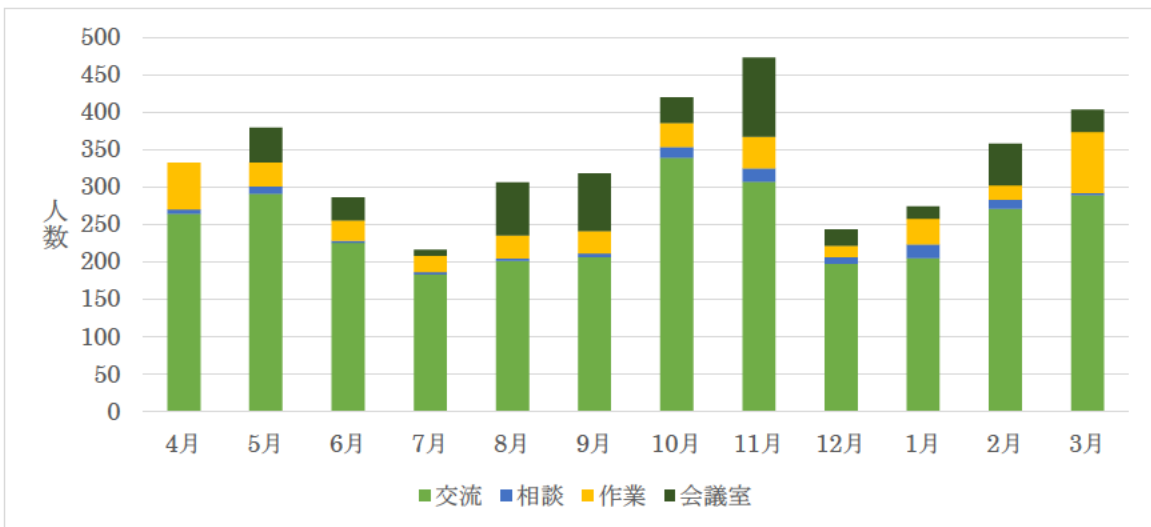
年間延利用者数：32,273人      1日利用平均人数：104.78人  
 年間利用件数   ：9,841件      1日利用平均件数：31.95件

イ 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設、分館の施設管理運営を行う。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理

- ①日時                   年間（開館308日）
- ②場所                   市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員           5名
- ④受益対象者           公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



#### 市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：4,008人      1日利用平均人数：13.01人  
年間利用件数   ：1,397件      1日利用平均件数：4.53件

#### ウ フジサワラボの管理運営

公共施設では対応できない講座やイベント利用を考えている団体等に向けた「場」の提供を目的に、レンタルスペース「フジサワラボ」の運営を「ワークショッププラボ湘南」と協働し実施した。(利用団体 13 団体、利用件数 53 件)

- ①日時           年間
- ②場所           藤沢市内
- ③従事者人員   4名
- ④受益対象者   市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

#### (4) 市民活動の普及啓発および推進事業 (支出額 8,379,571 円)

#### ア 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

藤沢市民の IT リテラシーの向上に長年寄与してきた事業の継続を支援するため、「NPO 法人 IT サロン藤沢 (旧:IT 講師懇談会)」の事業展開をサポートし、高齢者層や青少年層への IT リテラシー向上支援を実施した。(相談会:283 回開催、延べ 1378 名利用、新規登録 46 名。講座は 125 回開催、延べ 750 名利用、新規登録 20 名)

- ①日時           年間
- ②場所           Let's ふじさわ会場 (湘南台・辻堂)
- ③従事者人員   1名
- ④受益対象者   一般市民

#### イ イベント等プロデュース事業

市民参加を推進するために、藤沢市民まつりをはじめとする各種イベント等の企画へ参画した。主に学生や 20 代の社会人を中心とした世代を対象に、地域との継続的な関わりを持つことや市民活動に触れるきっかけづくりを目的に、ボランティア等を手段とした述べ 107 人の地域参画の機会提供を行った。

- ① 日時           平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- ② 場所           藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員   3 名
- ④ 受益対象者   まちづくりに興味関心ある一般市民
- ⑤

参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
イータウン・イーマルシェ@東奥田公園	毎月第4日曜日	24名
お話のプロが教える「絵本の音読」@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	毎月第3木曜日	40名
第15・16回ふじさわちよい呑みフェスティバル@藤沢駅南口	15回5月8・9日（火・水） 16回11月6・7日（火・水）	6名
湘南フラワーコーディネーター展示&ワークショップ@トレアージュガーデン	7月26・27日（木・金）	3名
第45回藤沢市民まつり@秋葉台総合公園・体育館（雨天のため、室内企画のみ）	9月29日（土）	7名
第4回 粉もんフェスティバル@テラスモール前広場	10月7・8日（土・日）	7名
レディオ湘南 Shonan Autumn Fes@辻堂海浜公園	10月20・21日	9名
藤沢ビックウェーブサポーターズミーティング@農家レストランいぶき	2018年2月17日	3名
藤沢ビックウェーブ アスリートと考えるまちづくり・おもてなし@クラジャ	2018年3月9日	3名
藤沢ビックウェーブアイデアソン@日本大学	2019年3月23日	4名
フットサルフェスタ 2018 @ミズノフットサルプラザ藤沢 ※藤沢市民まつり内イベント 振替実施	2019年3月28日	1名

#### ウ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。今年度より、7チーム制から2コース制へと変更を行い、「企画・運営コース」および「事務力アップコース」を設けてゆるやかに移行した。（アドバイザーは一定の基準があるため除く）

※サポーター95名、アドバイザー30名（2019年3月31日現在）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

## エ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時                   年間
- ②場所                   会議等開催場所
- ③従事者人員       4名
- ④受益対象者       一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

全国

- ・民間NPO支援センター・将来を展望する会
- ・ICT支援者ネットワークミーティング

神奈川県

- ・神奈川県支援施設CEOミーティング
- ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
- ・地域ボランティアエアポート連絡会
- ・かながわ人生100歳時代ネットワーク会議

藤沢市

- ・藤沢市市民活動推進委員会
- ・藤沢市シティプロモーション委員会
- ・藤沢市情報公開制度運営審議会
- ・藤沢市生涯学習大学評議会
- ・藤沢市ワークライフバランス会議
- ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
- ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会
- ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
- ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
- ・藤沢市社会教育委員会
- ・藤沢市公民館検討委員会
- ・北部各地区郷土づくり推進会議
- ・藤沢市青少年問題協議会
- ・藤沢市民まつり実行委員会

他市等

- ・（仮称）鎌倉市市民活動推進条例検討会
- ・横須賀市市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会
- ・文京区新たな公共プロジェクト成果検証会議
- ・NPO インターンシップラボ実行委員会

#### （５）市民参加によるまちづくり推進事業（支出額 8,379,571 円）

##### ア 藤沢市内イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベント（藤沢市民まつり等）を中心に参加支援を行った。機会提供などを含め、市民活動団体延べ37団体の参加を支援した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体およびその関係者

##### イ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2018（（公財）電通育英会助成事業）」を行った。

同プログラムで培ったノウハウを全国の中間支援組織等に広げるため、B. 2015～2017 年度に実施した B 「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム（（公財）トヨタ財団助成事業）」をまとめた冊子「藤沢の流儀」の作成を（公財）トヨタ財団の助成を受け作成した。

加えて、本プログラムに興味を持っていただいた中間支援組織に対する C. ノウハウ移転支援を行った。前年に引き続き、D. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。  
（参加団体：12 団体、ワカモノインターン：14 名）

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市民活動推進センター協力のもと事業を実施した。

※高校生：80 時間以上（上限 100 時間）、ワカモノ：120 時間以上（上限 200 時間）

B「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」ノウハウ集「藤沢の流儀」の作成を行った。

本プログラム初年度の2014年から3年間の取り組みのノウハウをまとめた冊子を発行した。藤沢の流儀として、主に3点を掲載する。

今後、本冊子をもとに他地域の間支援組織に向けたノウハウ移転を展開していく予定。

#### C インターンプログラムのノウハウ移転支援

「NPO インターンシップラボ (※) キックオフシンポジウム (2018年9月15日、駒澤大学)」にて、当団体が事例紹介者及び分科会コーディネーターとして参加。その際に「(N) こまつNPOセンター (石川県)」よりご相談をいただく。その後「A」成果発表会 (2019年2月16日) にお越しになり、打合せを電話やウェブツールを活用して複数回実施し、プログラムへの情報や資料提供などを行った。

##### ※NPO インターンシップラボ実行委員会

トヨタ財団、NPO 法人アクションポート、その他学生向けのプログラムなどをやっている関東県内の組織と一緒に実行委員会が2018年4月に発足し、発足メンバーとして関わっている。

#### D 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：6名 (七里ヶ浜高、神奈川大、多摩大、昭和音楽大、尚美学園大、横浜国立大)

学生以外：下記の通り

受入人数 延べ107名、受入日数109日、スタッフ延べ対応時間数 355.5時間

内 訳 藤沢キャリアセンター (パーソルチャレンジ株式会社)

延べ91名、46日間

就労以降支援事業所 LITALICO ワークス 横浜戸塚((株)LITALICO)

延べ10名、30日間

よこはま若者サポートステーション (運営：(N) ユースポート横濱)

延べ6名、33日間

- |        |  |
|--------|--|
| ①日時    | 年間   |
| ②場所    | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、各市民活動団体の活動場所等、藤沢商工会館ミナパーク |
| ③従事者人員 | 10名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民                                      |



## ウ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対して研修事業等の支援を目的に、A六会人材センター運営事業、B藤沢市生涯学習大学地域活動コース「地域とつながるはじめの一步～地域活動団体のインターンにしよう！～」C「湘南台地区地域サポーター養成講座『ゆめまる地域塾』」を実施した。

### A「六会人材センター運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」

地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力によって解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性化を目指す活動。

※団体登録15件、サポーター登録35名、依頼案件12件、  
マッチング21件（うち不成立2件含む）、サポーターの活動のべ156人

### B「生涯学習大学地域活動コース 地域とつながるはじめの一步～地域活動団体のインターンに参加しよう！～」(藤沢市生涯学習部生涯学習総務課との連携事業)

地域人材の掘り起こしを行うほか、地域コミュニティを活性化するための人材育成を図り、継続的な活動に繋げることを目的として、全4回の連続講座を実施。第3回目は実際にボランティア活動を体験する期間として、地域活動団体インターンシップを行った。

### C「湘南台地区地域サポーター養成講座（講座名称：ゆめまる地域塾）」(湘南台地区郷土づくり推進会議業務委託事業)

「参加の前に地域の仕組みを知る」「ボランティアを考える」と題し地域の事を知り、その後ボランティア概論、ボランティア体験・体験談、意見交換などを行い、地域内における活動人口を増やしていくことを目的として実施。

ボランティア体験として、湘南台子育てメッセの準備日及び当日に参加した。

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| ①日時    | 年間                     |
| ②場所    | 藤沢市内                   |
| ③従事者人員 | 8名                     |
| ④受益対象者 | 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの |

## エ 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、NPO 活動相談及び多様な主体との協働を推進するための相談対応（66件）及び「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」に関連したアドバイスやオブザーバー参加に参加した。

企業（※）との相談・アドバイスをを行った他、ウスイホーム（株）の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、（株）伊藤園とのチャリティベンダー（社会貢献型自動販売機）設置サポートは継続して行っている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### ※企業相談実績

- ・ウスイホーム（株）
- ・（株）有隣堂トレアージュ白旗店
- ・花王（株）
- ・パナソニック（株）
- ・ウエルシア薬局（株）
- ・（株）HGST ジャパン
- ・オイレス工業（株）
- ・アズビル（株）

#### オ 地域グループ支援事業

藤沢市「高齢者の通いの場事業」として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らす街づくりに貢献した。

（登録者数：397人（内、2019年度新規登録者61人）のべ利用人数3,370人

町内会に加入して地域との連携をしている。いきいきサポートセンターや藤沢市健康づくり応援団との連携・交流を図っている。

また、地域包括ケアシステムのもと、高齢者の健康づくりのための講座を年4回開催。介護予防従事者研修や交流会・AED講習などに参加しスタッフの意識の向上を図る。

- ①日時 年間（開館217日 ※火・水・木・金・隔週土）
- ②場所 藤沢市藤沢644番地
- ③従事者人員 7名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

#### カ オリピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業

「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」を活用したテーマ設定型協働事業として、「オリピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業（協働先：藤沢市東京オリピック・パラリンピック開催準備室）」を実施した。

ブース出展（8会場・延べ16日間）、1964年を振り返る映画上映会、参画プログラム説明会（2回）、アイデアソン（3月23日）及びアイデアソン準備会（3回）を実施し、応援団員登録の案内などオリパラ機運の盛り上げ活動を行った。応援団登録12,089名（目標数5,000～10,000）、アイデアソン参加（準備会含む）185名（目標数100）となった。

次年度（2019年度）は、藤沢市東京オリンピック・パラリンピック開催準備室と直接契約を結び、事業を継続して実施する予定。

- ①日時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

#### キ かながわ人生100歳時代ネットワーク連携事業

企業で働いている現役世代に対し、「地域社会や市民活動等について理解を深め、人生設計について考えるきっかけ」を与えることを目的としたプログラム開発を神奈川県から委託され実施した。（「現役世代マルチライフ推進」支援プログラム業務委託）

藤沢市内企業であるアズビル（株）、オイレス工業（株）の2社に対し支援プログラムを作成。両社とも全体説明会等の実施後、フィールドワーク（市民活動団体へのボランティア体験）を行い、6名が市民活動団体の活動に参加をした。

- ①日時 2018年7月25日～2019年3月29日
- ②場所 アズビル（株）、オイレス工業（株）、体験先市民活動団体
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

#### （6）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（支出額 774,050円）

##### ア 災害復興支援事業

平成30年7月豪雨災害支援のため、寄附活動等の災害復興支援事業を実施した。緊急街頭募金（※）実施時には、サポートクラブメンバーや市民活動団体にご協力いただいた。（2018年7月29日実施）また、市民活動団体への呼びかけや、市民活動支援施設等での募金を行った。本事業の寄附金は全額、中央共同募金会の「平成30年7月豪雨災害 ボランティア・NPO活動サポート募金」に寄附した。※街頭募金のみ：97,105円、募金総額149,002円

参考：平成30年7月豪雨災害ボランティア・NPO活動サポート募金

[https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018\\_july\\_gouu/](https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018_july_gouu/)

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢駅南口、市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 被災地で活動している市民活動団体等

### 3 その他

#### ア 会議の開催（総会・理事会等）

理 事 会：2018年4月29日（日）、2018年6月17日（日）、  
2018年7月1日（日）、2018年12月1日（土）

通常総会：2018年6月17日（日）

# 2019（平成31・令和元）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 1 事業の総括

2019年度は以下に挙げる事業を重点的に展開しましたので報告をさせていただきます。

### (1) 市民活動の発展と継続のための支援を実施する。

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の指定管理者として管理運営を行っています。（第4期指定管理期間（5事業年度）における運営2年目）市民活動の発展と継続のための支援として、それぞれの施設の特性を活かしつつ、両施設一丸となって市民活動支援を進めてまいります。

なお、同じく場の提供事業として、貸会議室「フジサワラボ」（当団体入居ビルの別階）がスタートしていますが、前年度において収益化については見通しが不明な状況として、本年度に継続可否について検討をいたしました。理事会での事業継続是非等の議論も踏まえ、ゆるやかに事業終了するべく、準備を進めています。

### (2) 市民活動への参加機会を拡充すること、またそれに伴う調査・研究を実施する。

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への市民活動参加機会の提供を行いました。

学生等に向けたNPOへのインターンシップ事業は6年目を迎えました。参加する若者がインターンをするだけでなく、事業内のイベントを若者主体で企画・運営するプログラムとなっており、参加する若者はもちろん、多くの学校や市民活動団体に好評です。なお、多様な財源を活用して実施してきましたが、次年度以降も様々な資金調達手法を活用し、事業を継続・実施をしてきたいと考えています。

神奈川県的人生100歳時代ネットワークに係る事業として、昨年度のアズビル（株）、オイレ工業（株）の2社に加え、今年度は大塚製薬（株）に対し支援プログラムを作成、社員の皆様に対し、フィールドワーク（市民活動団体へのボランティア体験）を企画しました。

次年度に迫ったオリンピック・パラリンピックに向けて「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業が本格化してきました。本事業は同大会をきっかけとして、市民活動への参加機会の拡充を目的に進めており、オリパラ関連を含め、様々な市民活動情報を団員に発信をしています。

(3) 非営利組織の評価に関する研究と、自己診断事業による支援を実施する。

(一財) 非営利組織評価センター (JCNE) 協力のもと完成した「組織診断ツール (自己診断シート「組織を支える 17 の視点」)」を活用した事業を展開しました。昨年度に引き続き JCNE 委託事業を行いつつ、シートの周知も併せて実施しました。

また、自己診断シートを活用した組織診断の収益化のため、プレ実施 (NPO 法人 3 団体) を行いました。(プレ実施は無償実施) シート集計結果と、そこから読み取れる内容について報告する場を各団体において設定。プレ実施で見えてきた課題 (伝え方・データの見せ方) 等を改善することで、満足度の高い組織診断を目指します。

さらに、この事業を広げるべく、神奈川県助成事業である「かながわボランティア活動推進基金 21(事業所管部署:神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター基金事業課)」の 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、選考の末選定されました。17 の視点を活用して中間支援組織のスキルアップと実施団体の課題解決に向けた「セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業」として実施します。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

2019 年度末より新型コロナウイルスの感染が拡大したことにより、世界規模で拡大防止の施策が行われています。当団体としては、市民活動団体に必要と思われる様々な情報を収集を行い、指定管理施設である市民活動推進センター・市民活動プラザむつあいの団体活動支援として、ホームページ上で「新型コロナウイルスに関する参考情報」の展開を図りました。更に、電話での活動相談や印刷等の作業代行を行うことで、利用者の立ち入りが制限される中でできる限りの対応を開始しました。(2020 年 5 月 31 日まで継続)

また、3 月より各種事業の延期・中止対応や翌年度の事業のスケジュール変更・中止を余儀なくされています。特に 2020 年の「東京オリンピック・パラリンピック」については延期が決定したことで「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事業の計画が大幅に変わることが予想されます。当団体では、オリンピックを一つの市民活動を盛り上げる機運と捉えて次年度の計画を進めてまいりましたが、そうした目標を踏まえつつも、存続の危機や運営状況の悪化に見舞われた団体の支援に、全力を尽くすべく事業を進めてまいります。

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人) -----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)---	認定特定非営利活動法人
(公財) -----	公益財団法人	(一財) -----	一般財団法人
(一社) -----	一般社団法人	(株) -----	株式会社
(有) -----	有限会社		

## 2 事業の内容

### (1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業（支出額 2,659,343 円）

#### ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、課題解決のためのアイデア提案事業「フジソン2019」や「湘南・こどもの未来を夢みる会」、市民活動団体の交流事業として「プラザdeカフェ」や「集まれ、子どもセミ調査団」など、合計14回開催した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、藤沢商工会館ミナパーク、ちびっこ保育園/藤沢園、藤沢市市民活動プラザむつあい、六会公民館、六会市民センター
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座（NPO マネジメント講座）を 11 回、PC 関連講座（IT サポート講座）を 11 回実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

#### ウ 地域版組織診断システムの運用

（一財）非営利組織評価センター（JCNE）協力のもと完成した「組織診断ツール（自己診断シート「組織を支える 17 の視点）」を活用した事業展開を進めた。

昨年度に引き続き（A）JCNE 委託事業として「非営利組織のための第三者組織評価業務」を実施した。加えて 17 の視点の説明会として（B）及び（C）自己診断シートを活用した組織診断のプレ実施を行った。

##### A「非営利組織のための第三者組織評価業務」

JCNE が展開している「グッドガバナンス認証（ベーシック評価・アドバンス評価）」の広報・普及や制度説明会開催業務を行った他、「組織を支える 17 の視点」の周知・活用のための広報活動を行った。

市外への周知：神奈川県内 NPO 支援センターCEO 会議

第 35 回民間 NPO 支援センター・将来を展望する会（CEO 会議）

市内への周知：組織を支える新しい取り組み「自己診断」と「組織評価」を学ぶ！

（市民活動推進センター協力事業）

B 団体に関わる人たちの声を聞く…「セルフチェック ～組織基盤強化のための 17 の視点～」  
機構主催事業として 17 の視点の活用等を説明した。

#### C NPO に向けた組織診断のプレ実施

本シートに興味関心のある NPO 法人 3 団体に対し自己診断シートの配布を配布。回収後、  
集計結果表と結果から読み取れる事項に関して、団体関係者への説明を行った。プレ実施の  
ため無償で実施したが、今後は有償化を考えている。

- ①日時 A 年間随時、B 2019年11月2日、C 年間随時
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 診断実施NPO法人、市民活動団体関係者、全国中間支援組織関係者

#### エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営と、  
「CAMPFIRE」「GoodMorning」での運営サポートを行い、4,032,500 円の資金調達を支援した。  
2018 年度より寄付型・購入型が扱えるようになり、今年度初めて寄付型でのプロジェクトを  
取り扱った。弊機構がクラウドファンディングサイトを運営していることの認知度が向上し、  
プロジェクト数は 2018 年度と比べて 1.5 倍となった。プロジェクト数は増えたものの、金額  
は減少しているため、プロジェクト数を担保しつつより質の高いサポートを行うことが今後  
の課題である。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民



参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
ふじさわアートフェスティバル実行委員会	135,000	67%	35人	2019/4/15	2019/5/15
合同会社萬葉楽	507,000	42%	56人	2019/9/20	2019/11/30
藤沢 自然と親しむ会	59,000	19%	13人	2019/10/4	2019/11/12
勇 碧	886,500	110%	116人	2019/11/7	2019/12/10
藤沢市観光シティプロモーション課	2,014,000	201%	189人	2019/11/15	2019/12/19
ネイリストセイジ	230,000	23%	27人	2019/12/5	2020/1/31
(N) 返子まちなかアカデミー	141,000	14%	27人	2019/12/7	2020/1/31
さむかわ音楽ひろば	60,000	20%	21人	2020/3/17	2020/4/15

#### オ SAVE JAPANプロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

全国の希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「損保ジャパン日本興亜(株)(東京都)」と「認定NPO法人日本NPOセンター(東京都)」との協働事業の神奈川県実施事業として、「(N) ゆい(神奈川県茅ヶ崎市)」を3年間サポートしている。2019年2月に実施した「湘南海岸カントリーコードを考える交流会」について「交流会レポート」を作成した。2020年6月29日(土)に湘南茅ヶ崎海岸にて砂草の植栽会を実施予定だったが、雨天中止となった。※本年度で協働事業は終了するが、本事業のネットワークを活かし「(仮称)湘南なぎさのガイドライン」の策定に向けた事業を展開する検討をした。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体と参加市民

#### カ 災害復興活動団体への支援事業

市内各種イベント内での被災地製作製品等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に10台のPCを整備・再生を行った。また、被災者や被災事業者の食品や雑貨の販売を通じた被災地支援を実施。レンタルボックス「おはこ」での委託販売を実施した。

- ①日時 年間 ※「おはこ」は2019年4月1日～2019年9月30日
- ②場所 レンタルボックス「おはこ」、ゆくり庵、藤沢市市民活動推進センター、各イベント会場
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 復興支援事業に興味があり、公益的な市民活動を行っている又は興味のある団体(※)と個人

## キ 災害復興支援事業

令和元年台風15号・19号被災地支援のため、寄附活動(※)等の災害復興支援事業を実施した。台風19号発生時には、スタッフの長野県NPOセンターへの応援派遣(2019年11月1日～11月4日)を行った。※募金総額25,502円

また、「広域連携かながわ図上訓練第実行委員会(準備会2019年6月6日、第1回7月25日)」、「災害時における中間支援組織の12の役割(2019年10月28日)」、「災害時における三者連携・協働に向けた研修会(2019年12月3日)」など、新たな取組みや研修への積極的な参加を行い、組織としての災害時支援のあり方を改めて見つめなおした。

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| ①日時    | 年間                            |
| ②場所    | 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、長野県庁ほか |
| ③従事者人員 | 2名                            |
| ④受益対象者 | 被災地で活動している市民活動団体等             |

## ク 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力(審査会等への参加、アドバイス等)を行った。

- |        |           |
|--------|-----------|
| ①日時    | 年間        |
| ②場所    | 助成組織の事務所他 |
| ③従事者人員 | 4名        |
| ④受益対象者 | 各種助成組織(※) |

※参考：参加助成プログラム等

- ・(公財)かながわ生き生き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・平塚市市民活動補助金審査会
- ・行政関連：綾瀬市、相模原市、二宮町、藤沢市

## (2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業(支出額54,427円)

### ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を2,587件(※1)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、8,829件(※2)発信を行った。

引き続き、レディオ湘南(藤沢エフエム放送株式会社)の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信(51回)を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算200回を超えて、定着してきたように思う。

- ①日時 年間随時
- ②場所 情報の届く範囲
- ③従事者人員 10名
- ④受益対象者 市民活動に興味のある者

※1：収集情報数：2,587件

※持込形態内訳

来館：486件、郵便：1,722件、庁内メール：246件、FAX：5件 Eメール：17件  
 スタッフ持込：110件

※情報形態内訳

団体PR 217件、発行物 1,116件、イベント 1,197件  
 ボランティア募集 24件、NPO支援情報(助成金等) 241件、その他 33件

※2：情報提供数：8,829件

※内訳

情報ラック 1,556件 掲示板 1,148件  
 ファイリング 2,532件 メールマガジン 305件  
 HP(イベント情報) 1,181件  
 情報クリップ 297件(イベント情報、募集情報等)  
 市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))  
 ボランティア情報 52件(ボランティアーズ 23号、24号)  
 ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 75件  
 レディオ湘南「palette」による情報発信 51回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等

## イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

### ①市民活動団体の活動状況調査

登録団体・市内 NPO 法人の活動状況やボランティア受入れの実態を調査することで、今後の市民活動支援に向けた、参考資料とする。(調査対象：藤沢市市民活動支援施設の登録団体 427 団体、未登録の藤沢市内の NPO 法人 111 団体、計 538 団体)

### ②新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート調査

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動にどのような影響が及ぼされたのか、さらに、今後どのような支援策を講じると良いのかを共有し、この状況を乗り切るための方策を調査するために実施した。(調査対象：藤沢市市民活動支援施設に関わりのある NPO・市民活動団体および個人等)

### ③市民活動支援に関する研究

昨年度同様、他市NPO支援センターへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転手法の構築及び市民活動支援に関する研究を行っている。

- |        |   |
|--------|---|
| ①日時    | ①2019年10月10日(木)～2019年11月10日(日)<br>②2020年3月15日(日)～2020年3月31日(日)<br>③年間 |
| ②場所    | ①及び②藤沢市内、③逗子文化プラザ市民交流センター   |
| ③従事者人員 | 5名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体および市民   |

### ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間22回参加した。また、インターンシッププログラムを8団体(※)受け入れた。

※(N)アズヴェール藤沢スポーツクラブ、(N)Nico's Company、(N)幼児武道教育振興会、(N)ハーモニーインターナショナル、(認N)藤沢市民活動推進機構、(N)鎌倉あそび基地、(N)横須賀創造空間、藤沢市民まつり実行委員会

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| ①日時    | 年間随時                  |
| ②場所    | 藤沢市内                  |
| ③従事者人員 | 5名                    |
| ④受益対象者 | スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他 |

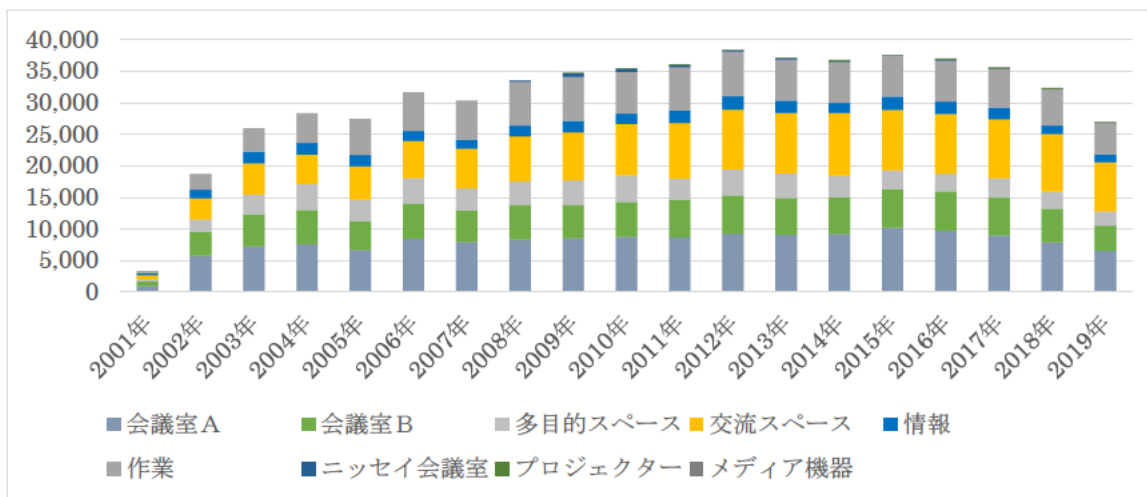
### (3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業 (支出額 12,712,965円)

#### ア 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定されており、今年度は2年目の管理運営となる。なお、3月6日より新型コロナウイルス拡散防止の観点から、休館措置が取られ、利用者の利用制限が設けられていた。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

- ①日時 年間（開館287日）
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 15名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



#### 藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

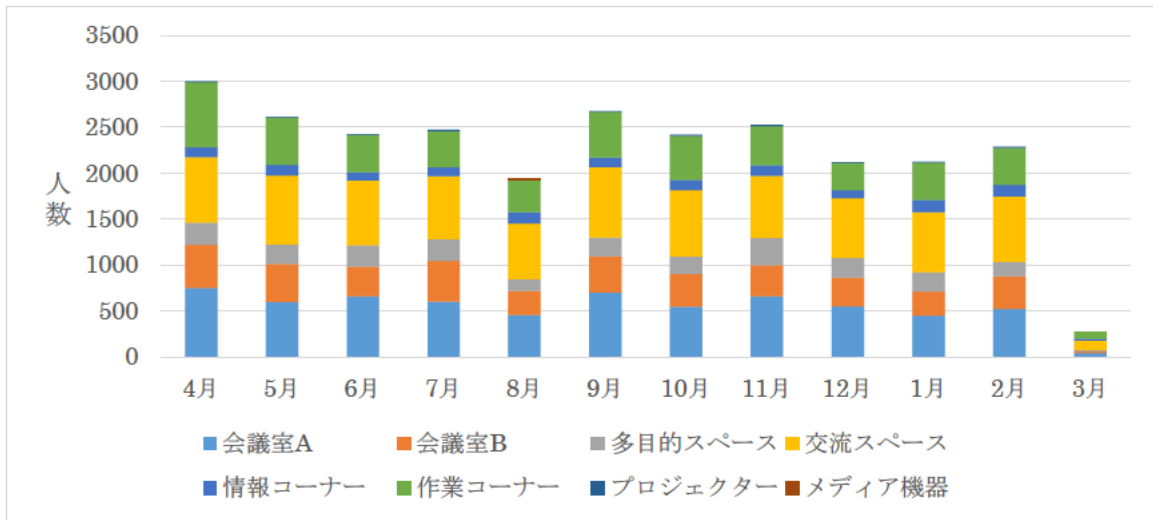
年間延利用者数：26,878人      1日利用平均人数：93.65人  
 年間利用件数：8,453件      1日利用平均件数：29.45件

#### イ 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設分館の施設管理運営を行う。3月6日よりの利用者の制限も「ア」と同様に実施された。

主な業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理

- ①日時 年間（開館255日）
- ②場所 市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：3,674人      1日利用平均人数：13.1人  
 年間利用件数   ：1,552件      1日利用平均件数：5.45件

ウ フジサワラボの管理運営

公共施設では対応できない講座やイベント利用を考えている団体等に向けた「場」の提供を目的に、レンタルスペース「フジサワラボ」の運営を実施。上半期は「ワークショッププラザ湘南」が担当していたが、利用が広がらない事から機構が運営を実施した。

(利用団体 10 団体、利用件数 31 件)

- ①日時           年間
- ②場所           藤沢市内
- ③従事者人員   3名
- ④受益対象者   市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業 (支出額 4,803,306 円)

ア 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

市民活動団体の運営支援として、藤沢市民の IT リテラシー向上を目的とした「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」事業を活用して、NPO 法人 IT サロン藤沢の事業展開・団体成長のサポートを行った。

「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」事業は、年間で相談会 282 回開催 1213 名参加、講座は 127 回開催 547 名参加する事業へと発展し、支援対象団体も任意団体が NPO 法人格を取得するに至り自立化を果たした。(本年度で事業終了)

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 1名
- ④受益対象者 市民活動団体と参加市民

#### イ イベント等プロデュース事業

市民参加を推進するために、藤沢市民まつりをはじめとする各種イベント等の企画へ参画した。主に学生や20代の社会人を中心とした世代を対象に、地域との継続的な関わりを持つことや市民活動に触れるきっかけづくりを目的に、ボランティア等を手段とした述べ88人の地域参画の機会提供を行った。

- ①日時 平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
イータウン・イーマルシェ@東奥田公園	毎月第4日曜日	9名
お話のプロが教える「絵本の音読」@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	毎月第3木曜日	21名
第17・18回ふじさわちよい呑みフェスティバル@藤沢駅南口	17回5月7・8日（火・水） 18回11月12・13日（火・水）	17名
人生カフェ@ODAKYU 湘南 GATE	6月8・9日（土・日）	3名
おととき♪@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	7月28日（日）	2名
第46回藤沢市民まつり@秋葉台総合公園・体育館	9月28日（土）	13名
えほんのPOPをつくろう@トレアージュガーデン（有隣堂藤沢本町トレアージュ白旗店内）	10月10日（日）	3名
SHONAN AUTUMN FES2019	10月20日（日）	4名
ふくし村のアートな縁日@湘南ふくし村	11月23日（土）	8名
フジソン2019	2020年1月22日（水）	2名
社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム成果発表会	2020年2月8日（土）	6名

## ウ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。「事務力アップコース」では市民活動支援施設の情報誌の発送作業や館内管理の補助を行った。また、企画運営コースでは、市民活動支援施設主催の事業の運営サポートとして関わっていただいた。

※サポーター119名、アドバイザー28名(2020年3月31日現在)

サポーターの内訳(重複あり)

事務力アップコース 56名、企画運営コース 53名 コース無 28名

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

## エ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

- 全国
  - ・民間 NPO 支援センター・将来を展望する会
  - ・ICT 支援者ネットワークミーティング
- 神奈川県
  - ・神奈川県支援施設 CEO ミーティング
  - ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
  - ・地域ボランティアエアポート連絡会
  - ・かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議
- 藤沢市
  - ・藤沢市市民活動推進委員会
  - ・藤沢市シティプロモーション委員会
  - ・藤沢市情報公開制度運営審議会
  - ・藤沢市生涯学習大学評議会
  - ・藤沢市ワークライフバランス会議
  - ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
  - ・上記支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会



- ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
  - ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
  - ・藤沢市社会教育委員会
  - ・藤沢市公民館検討委員会
  - ・北部各地区郷土づくり推進会議
  - ・藤沢市青少年問題協議会
  - ・藤沢市民まつり実行委員会
- 他市等
- ・(仮称) 鎌倉市市民活動推進条例検討会
  - ・横須賀市市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会
  - ・文京区新たな公共プロジェクト成果検証会議
  - ・NPO インターンシップラボ実行委員会

#### (5) 市民参加によるまちづくり推進事業 (支出額 5,397,046 円)

##### ア 藤沢市内イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベント（藤沢市民まつり等）を中心に参加支援を行った。機会提供などを含め、市民活動団体延べ37団体の参加を支援した。

- |        |               |
|--------|---------------|
| ①日時    | 年間            |
| ②場所    | 藤沢市内および近隣     |
| ③従事者人員 | 2名            |
| ④受益対象者 | 市民活動団体およびその関係 |

##### イ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2019 ((公財) 電通育英会助成事業)」を行った。

また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A 「社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。  
(参加団体：8 団体、ワカモノインターン：8 名)

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。  
この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市民

活動推進センター協力のもと事業を実施した。

※高校生：80時間以上（上限100時間）、ワカモノ：120時間以上（上限200時間）

#### B 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：7名（神奈川大学、多摩大学、国際基督教大学、日本大学、早稲田大学）

学生以外：受入人数 延べ182名、受入日数126日、スタッフ延べ対応時間数 476.25時間

内訳 ミラトレ藤沢（運営：パーソルチャレンジ(株)） 延べ100名、49日間

就労移行支援事業所 LITALICO ワークス横浜戸塚、藤沢、横浜東口ほか

延べ77名、72日間

バックアップ藤沢（運営：(社福)いきいき福祉会・(一社)インクルージョン

延べ4名、1日間

- |        |  |
|--------|--|
| ①日時    | 年間   |
| ②場所    | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、<br>各市民活動団体の活動場所等、藤沢商工会館ミナパーク |
| ③従事者人員 | 10名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民  |

#### ウ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対して研修事業等の支援を目的に、A六会人材センター運営事業、B「湘南台地区地域サポーター養成講座『はじめよう！地域ボランティア塾』」を実施した。

##### A「六会人材センター運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」

地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。年度末は新型コロナウイルス感染拡大を予防する観点から学習サポートなど

※団体登録18件、サポーター登録52名、依頼案件18件、

マッチング27件（うち不成立3件含む）、サポーターの活動のべ198人

##### B「湘南台地区地域サポーター養成講座（講座名称：はじめよう！地域ボランティア塾）」（湘南台地区郷土づくり推進会議業務委託事業）

「地域の仕組みを知る」「ボランティアを考える」「卒塾生の活動紹介」等、地域の事を知り、その後ボランティア概論、ボランティア体験・体験談、意見交換などを行い、地域内における活動人口を増やしていくことを目的として実施。

ボランティア体験として、湘南台子育てメッセの準備日及び当日に参加した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### エ 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、NPO活動相談及び多様な主体との協働を推進するための相談対応（66件）及び「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業提案制度」に関連したアドバイスやオブザーバー参加に参加した。

企業との相談・アドバイスを行った他、ウスイホーム（株）の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、（株）伊藤園とのチャリティベンダー（社会貢献型自動販売機）設置サポートは継続して行っている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### オ 地域グループ支援事業

藤沢市「高齢者の通いの場事業」として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らせるよう活動を続けている。又、町内会に加入して地域との連携や、東部包括いきいきサポートセンター、藤沢市健康づくり応援団などと連携・交流を図っている。春には応援団主催の市役所で開催された地域活動見本市に参加し、ゆくり庵の作品や活動を紹介した。

新型コロナウイルスの影響で、感染拡大防止のため3月より閉所。開所については2020年6月までは閉所の方向である旨を伝えられている。

- ①日時 年間（開館198日 ※火・水・木・金・隔週土）3月は閉所
- ②場所 藤沢市藤沢644番地
- ③従事者人員 7名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

**カ オリンピック・パラリンピックに向けた「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業**  
オリンピック・パラリンピックを藤沢から盛り上げる「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」の運営を行った。事務局運営の他、情報発信(LINE:85回、メルマガ:49回、広報誌:3回)、団員企画の活動サポート(全61回)、ボランティアの募集受付(全8回)、応援団イベント・参加型キャンペーンの実施(全11回)等の活動を行った。

(委託事業名:「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局運営等業務委託)

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

### **キ かながわ人生100歳時代ネットワーク連携事業**

企業で働いている現役世代に対し、「地域社会や市民活動等について理解を深め、人生設計について考えるきっかけ」を与えることを目的としたプログラム開発を神奈川県から委託され実施した。(事業名「生涯現役マルチライフ推進」支援プログラム開発業務委託)

昨年度のアズビル(株)、オイレス工業(株)の2社に加え、大塚製薬(株)に対し支援プログラムを作成。フィールドワーク(市民活動団体へのボランティア体験)を行い、延べ15名が市民活動団体の活動に参加をした。(4イベントのうち、2件はコロナの影響で中止)

- ①日時 2019年11月末～2020年3月31日
- ②場所 アズビル(株)、オイレス工業(株)、大塚製薬(株)、受入市民活動団体
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

### **(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業**

## **3 その他**

### **ア 会議の開催(総会・理事会等)**

理事会:2019年6月9日(日)、2019年6月16日(日)、2019年11月4日(月)

2020年2月16日(日)、2020年3月28日(土)※

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

通常総会:2019年6月16日(日)

# 2020（令和2）年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 1 事業の総括

2020年度は下記3つの柱を中心として、新型コロナウイルスによる市民生活や市民活動の影響や変化に対して対応をするべく、新しい取り組みを含め事業を展開しました。以下、報告をさせていただきます。

### （1）市民活動の発展と継続のための支援事業

市民活動団体の活動の場の提供として、引き続き「藤沢市市民活動支援施設（本館：市民活動推進センター、分館：市民活動プラザむつあい）」の指定管理者として管理運営を行っています。（第4期指定管理期間（5事業年度）における3事業年度目）

2020年度は新型コロナウイルスの影響により2001年からの施設設置後初となる長期休館期間が2回ありました。

参考：①2020年3月6日～2020年5月30日（4月1日～3日までは一時的に開館）

②2021年1月13日～2021年3月7日

休館期間中は電話による相談受付や、スタッフによる印刷代行を行いました。また、講座やイベントのオンライン開催等、施設が使えない中でも出来る支援に取り組みました。印刷代行については、特に年度の切り替わり時期となり総会等を控えていることもあり、登録団体からは高く評価していただきました。

休館や利用制限等の影響により、施設全体の利用件数・利用者数に大幅な減少が見られますが、その状況下においても、各施設の特性を活かし、支援施設としてできることを率先して行ってまいります。

なお、同じく場の提供事業である「貸会議室『フジサワラボ』（当団体入居ビルの別階）」については、2020年度の総会において収益化の見通しが無い状況において事業終了に向けて準備を進めている旨の報告をさせていただきました。一方、新型コロナウイルスにより、市民活動支援施設や公民館等の行政施設、近隣の民間貸会議室が使用できない状況において、市民活動団体の活動場所のニーズが一定数あることを踏まえて事業を継続しました。

利用料収入はある一方、事業維持に向けた収益化については見通しが立っていないため、ゆるやかな事業終了を視野に入れ、継続の可否については引き続き検討する必要があると考えています。

## (2) 市民活動への参加機会の拡充を図る支援事業

若者・現役世代・シニア世代等様々な層への市民活動参加機会の提供を行いました。

特に、学生等に向けた NPO へのインターンシッププログラムは 7 年目を迎えました。毎年、プログラムの最後にはワカモノの活動の成果を発表する場として、成果発表会を開催していますが、今年はコロナ禍ということもあり、例年より時期を遅らせてオンライン（ZOOM）配信で行うという初めての試みでした。コロナ禍で活動が減っている中で、ワカモノの活動の場を作りたいという想いで企画していたので、ワカモノ自身が活動を通して「もっと活動したかった」と意欲を持ってくれたことはプログラムのひとつの成果だと考えています。

なお、2020 年度のプログラムは、クラウドファンディング（※）で集めたご支援をもとに、運営してきました。また、藤沢市市民活動支援施設のサポーターの方々からも「はがきプロジェクト（後述）」にてご支援いただきました。皆様の温かい応援のおかげで無事にプログラムを実施することができ、感謝申し上げます。

※「ワカモノと NPO がつながって地域を知るプログラムを続けたい！」支援総額 275,000 円

[https://camp-fire.jp/projects/view/299680?list=search\\_result\\_projects\\_popular](https://camp-fire.jp/projects/view/299680?list=search_result_projects_popular)

## (3) 非営利組織の評価に関する研究と、自己診断による支援事業

前年度に引き続き、（一財）非営利組織評価センター（JCNE）協力のもと完成した「組織診断ツール（自己診断シート「組織を支える 17 の視点）」を活用した事業展開を進めました。

本ツールを広げるべく、神奈川県助成事業である「かながわボランティア活動推進基金 21（事業所管部署：神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター基金事業課）」の 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、選考の末選定されました。（後述）

本事業の支援対象である市民活動団体に加え、地域の中間支援組織（NPO 支援センター）にも参加・協力いただくことで、活動相談等のスキルアップの機会としても行っており、両輪の支援を行うことで地域の支援力のボトムアップを計っています。

なお、17 の視点を活用した事業の収益化については、仕組みづくりをしている状況であり、補助金・助成金等に依存しない運営を目指すべく、仕組み構築が急務だと考えています。

参考：基金 21 団体成長支援事業の目的

### ① 事業に応募する市民活動団体に対して

組織内の課題が見える化する。シート集計結果から、課題解決への道筋を見つけだし、組織の変化（改善）につなげる工夫の取り組みを図ること

### ② 事業に参加する中間支援組織に対して

本事業の協力サポーターとして運営団体との共同作業を行うとともに、団体伴走支援を通して支援ノウハウを学ぶことで活動相談対応のスキルアップを目指すこと

#### (4) 新型コロナウイルスによる市民活動のニーズ変化に対応するために

新型コロナウイルスに関して2度のニーズ調査により見えてきた団体活動支援として2つのプロジェクトが動きました。調査研究結果や日頃のNPO活動相談などの多くが「活動が出来なくなり、収益がなくなった」という資金面での悩みでした。さらに、緊急事態宣言解除後も動き出せていない団体は多く、団体メンバーの高齢化もあり、活動を辞めてしまうケースも出てきている中で、直近の支援施策として財政的支援は必要であると判断しました。

そこで「NPOのためのウィズコロナ応援基金藤沢（後述）」を立ち上げ、活動中止や縮小を余儀なくされた市民活動団体に対して助成を行いました。本事業では当団体理事の皆様にも審査員としてご参加をいただき様々な意見等いただきました。

また、政府より配布されたマスクの収集を行い、必要とする福祉施設や市民活動団体への寄贈プロジェクトを実施、こちらも協力団体の他、理事の皆様にも回収BOX等の設置等にご協力いただき実施をしました。

前述の通り、市民活動支援施設（市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい）では、休館中も電話での活動相談や印刷等の作業代行を行うことで、利用者の立ち入りが制限される中でできる限りの対応を実施しました。また、支援施設、そして「ゆくり庵」においては、感染症対策のため多くの事業をオンラインに切り替えて実施しました。多くの団体が活動できなくなる中で、より団体に寄り添ったサポートの必要性を感じ、ウィズコロナの環境で市民活動団体に求められる技術も積極的に講座内容に取り入れてまいりました。

オンラインコミュニケーションツールが急速に発達、浸透したことは非常に大きく、「市民活動プラザむつあい」では、外国と繋いで現地とリアルタイムに会話ができる企画や、地域の名所を公民館にいながら知ることができるオンラインまち歩き企画など「離れていてもできること」を実感するための講座を実施しました。結果としては講座からそのまま相談につながる流れや、地域団体と一緒に企画をつくれたことなど、さまざまな困難が会った中で、次年度につながる成果を得られたと考えます。

「東京オリンピック・パラリンピック」については2021年に延期が決定したことで「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」事業もスケジュール等が変更となりましたが、引き続き機運醸成に向けたイベントの実施や応援団員のフォローを進め、次年度に向けた準備を進めています。

本事業報告書では、各団体の法人格は、略称で表記しています。

(NPO法人)	-----	特定非営利活動法人	(認定NPO法人)	---	認定特定非営利活動法人
(公財)	-----	公益財団法人	(一財)	-----	一般財団法人
(一社)	-----	一般社団法人	(株)	-----	株式会社
(有)	-----	有限会社			

## 2 事業の内容

### (1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業

#### ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、課題解決のためのアイデア提案事業「フジサワアイデアソン2020～ポストコロナの子どもを取り巻く環境を考える～」や「クリスマスオンライン交流会」、市民活動団体の交流事業として「プラザdeカフェ」や「六会を知る！オンラインまち歩き」など、合計9回開催した。

- |        |   |
|--------|---|
| ①日時    | 年間  |
| ②場所    | 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、六会公民館、六会市街、Zoom（オンライン） |
| ③従事者人員 | 7名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民                             |

#### イ 市民活動団体等の活動における共通の課題についての研修会の開催

##### （藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

市民活動団体の活動における共通の課題について、通年実施している活動支援関連講座を8回（オンライン・オフライン）、PC 関連講座を8回（オンライン・オフライン）実施した。オンラインについては、「Google Meet」や「Zoom」等オンライン会議ツールを活用したリアルタイムの講座と、Youtube を活用した収録配信講座等を実施した。

参考：推進センターマネジメント講座「NPO 入門～知っておきたいNPO のこと～」

<https://www.youtube.com/watch?v=2MOXW61ZaI0>（現在非公開）

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| ①日時    | 年間                          |
| ②場所    | 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、Zoom |
| ③従事者人員 | 2名                          |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民           |

#### ウ 地域版組織診断システムの運用

「組織診断ツール（自己診断シート「組織を支える17の視点）」を活用した事業展開を進めた。「かながわボランティア活動推進基金21」を活用した(A)「非営利組織のための第三者組織評価業務」やツールの認知・普及を進めるために(B)及び(C)を行った。



## A 「セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業」

かながわボランティア活動推進基金 21 における 2020 年度ボランティア団体成長支援事業に応募し、採択される。17 の視点を活用し、市民活動団体（本事業の参加団体は「支援対象団体」と呼称）の現状をデータ化することで、団体に合わせた課題解決手法の提案など適切な伴走支援を行う他、必要に応じて第三者評価を受ける準備を支援する。

また、本事業は、中間支援組織（県内 NPO 支援センター）に協力をしていただき、運営団体との共同作業を行った。それにより、支援対象団体への伴走支援を通して支援ノウハウを学び、市民活動団体への活動相談対応のスキルアップを目指してもらう。

参考：協力サポーター一覧

おだわら市民交流センターUMECO	とつか区民活動センター
さがみはら市民活動サポートセンター	鎌倉市市民活動センター
ひらつか市民活動センター	事務局 ※担当地域外の団体支援のため

参考：支援対象団体等まとめ

支援対象団体一覧	伴走支援方針	伴走支援専門家
NPO 法人ころもみ	中期プラン	藤沢市民活動推進機構 ■■■■■
NPO 法人小田原山盛の会	資金調達	藤沢市民活動推進機構 ■■■■■
ふらっとステーション・とつか	ボランティア意識	NPO 法人 CR ファクトリー ■■■■■
NPO 法人横浜移動サービス協議会	組織のイメージ	NPO 法人男女共同参画おた 理事長 ■■■■■
ちゅうおうくらしねっと	業務分担	中小企業診断士 ■■■■■
NPO 法人相模原こもれび	人材	さがみはら市民活動サポートセンター センター長補佐 ■■■■■
NPO 法人鎌倉広町の森市民の会	若い人の魅力	モデレーター ■■■■■
NPO 法人鎌倉てらこや	将来ビジョン	鎌倉市市民活動センター センター長 ■■■■■
子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	意識の共有化	NPO 法人 CR ファクトリー ■■■■■
親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾	業務分担	ひらつか市民活動センター センター長 ■■■■■
神奈川骨髄移植を考える会	キャッチフレーズ	藤沢市民活動推進機構 ■■■■■

## B 「17 の視点」普及のための広報及び解説の実施

「(一社) ソーシャルコーディネートかながわ」主催事業「NPO 法人向け経営・資金調達セミナー 第 2 回目」における講師として 17 の視点の解説及び 17 の視点体験により作成した「集計結果表」の読み取り方の説明などを実施した。

### C NPOに向けた組織診断の実施

上記Aにある「基金21」事業における支援対象団体選考から落選した市民活動団体2団体(※)に対し自己診断シートの配布を配布。回収後、集計結果表と結果から読み取れる事項に関して、団体関係者への説明をメールや電話等で行った。

※NPO 法人ぜんしん、湘南いきいきリンパの会

- ①日時 A 年間、B 2021年2月12日、C 2020年11月頃
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター、各組織事務所等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 診断実施団体、市民活動団体関係者、全国中間支援組織関係者

### エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に(A)及び(B)を実施した。

#### A クラウドファンディングサイトの運営

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「FAAVO 湘南」の運営と、「CAMPFIRE」「GoodMorning」での運営サポートを行い、9,106,020円の資金調達を支援した。

コロナ禍といった喫緊の社会課題に対して何らかの解決を図ることや乗り越えようといった動きが様々な動きが全国各地でみられ、その影響もあつてか本年度の件数は2桁を超え、支援総額も昨年度に比べ2.2倍という成果となった。また2021年6月末をもってFAAVOというサービスが終了することから、2021年3月より「CAMPFIRE パートナー」として事業を継続することとなった。NPO等の活用事例も増えていることから、今後も支援ツールの一つとして確立されていくことを見込んでいる。

- ①日時 年間
- ②場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

参考：FAAVO湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
さむかわ音楽ひろば	60,000	20%	21人	2020/3/17	2020/4/15
鎌倉ボードゲームバー	0	0%	0人	2020/4/6	2020/5/15
「コロナに負けない藤沢の店たち」実行委員	1,691,000	169%	178人	2020/5/3	2020/6/1
おひさまのわプロジェクト	154,500	103%	39人	2020/5/15	2020/6/30
地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム サポートメンバー	275,000	28%	33人	2020/8/1	2020/9/20

逗子海岸営業協同組合 クラウドファンディング実行委員会	1,162,000	39%	141人	2020/8/4	2020/9/20
(N) ウェルフェアポート湘南	3,450,520	173%	356人	2020/8/18	2020/9/29
二宮尊徳の会	327,000	93%	35人	2020/12/12	2021/2/28
Knowledge Base	1,966,000	103%	18人	2021/1/1	2021/2/18
農家レストランいぶき・いぶき農園	34,000	7%	7人	2021/3/26	2021/4/30

## B 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた団体への助成事業

2019年末からの世界的な新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、「NPOのためのウィズコロナ応援基金藤沢」事業として、活動の中止や縮小を余儀なくされた市民活動団体に対し助成を行った。寄附については個人寄附や寄付募集サイトの利用、株式会社伊藤園からのご寄附を活用させていただき、8団体に対し総額348,400円の助成を実施した。

参考：助成団体一覧

団体名	
鶴沼室内楽愛好会	藤沢家事介護 W.Co えんじょい
湘南アルゼンチンタンゴダンス同好会	NPO 法人森の仔じゆうがっこう
藤沢合唱団	NPO 法人自由創造ラボたんぼぼ
日本語こんぺいとう	湘南市民ワークショップ

## オ 市民活動団体等への物品等の寄贈による活動支援事業

政府が配布した布マスクを不要な世帯から寄贈してもらい、需要が高い施設等に配布を行った。(収集枚数：約3,000枚、配布施設：11施設)

- ①日時 2020年6月から2021年3月
- ②場所 法人事務所、フジサワラボ、協力団体活動場所等
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 活動が困難になっているNPO・市民活動団体、介護施設や高齢者宅、児童施設の利用者及びスタッフ等

## カ 災害復興活動団体への支援事業

各種イベント内での被災地製作製品等の頒布を通じて支援金をお預かりし、その資金を元に4台のPCを整備・再生を行った。また、「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(通称「みんなかな」)※」との連携を進めている。

※神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内で活動する3組織(一社)ソー

シャルコーディネートかながわ、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク) が主体となって進めている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市市民活動推進センター
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 復興支援事業に興味がある団体と個人

#### キ 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織への協力（審査会等への参加、アドバイス等）を行った。

- ①日時 年間
- ②場所 助成組織の事務所他
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 各種助成組織（※）

※参考：参加助成プログラム及び審査会等

- ・（公財）かながわ生き生き市民基金・大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム・中央ろうきん社会貢献基金
- ・平塚市、綾瀬市、相模原市、二宮町、鎌倉市、藤沢市

### （2）市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業

#### ア 関連情報の収集と発信事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

本年度は、市民活動促進に関する情報を1,710件（※1）収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、5,928件（※2）発信を行った。

引き続き、レディオ湘南（藤沢エフエム放送株式会社）の「palette～湘南ライフをあなた色に～」内において、当法人紹介番組「NPO café」による情報発信を行った。また、2016年度から放送が始まった本番組は通算250回を超えた。コロナ禍でスタジオではなく、ほとんど電話での出演となり、ゲストは音声を事前に録音・編集して放送を行った。

- ①日時 年間随時
- ②場所 情報の届く範囲
- ③従事者人員 10名
- ④受益対象者 市民活動に興味のある者

※1：収集情報数：1,710件

※持込形態内訳

来館：227件、郵便：1,266件、庁内メール：157件、FAX：6件 Eメール：19件

スタッフ持込：35件

※情報形態内訳

団体PR 153件、発行物 974件、イベント 532件

ボランティア募集 12件、NPO支援情報(助成金等) 176件、その他 39件

※2：情報提供数：5,928件

※内訳

情報ラック 918件 掲示板 563件 ファイリング 1,658件 メールマガジン 382件

HP(イベント情報) 518件 情報クリップ 198件(イベント情報、募集情報等)

市民活動コーナー 1,632件(17団体×年間6回×16箇所(市民センター・公民館))

ウスイホーム(株)発行情報誌への藤沢地区イベント情報提供 13件

レディオ湘南「palette」による情報発信 46回(※)

※法人自主事業紹介、市民活動団体紹介、市民活動支援施設事業紹介等

## イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急アンケート(藤沢市市民活動支援施設事業として実施)

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動にどのような影響が及ぼされたのか、例えば、イベントやセミナーの中止による損失の状況等を把握すること。また、これを機に運営の工夫点などを可視化し、仕組みの拡充を図れるようにする。(回答数 33件、調査はウェブフォームおよび調査票のダウンロードにより実施)

②with コロナ社会の市民活動状況調査(藤沢市市民活動支援施設事業として実施)

上記①を踏まえ、主に藤沢市内で活動されている市民活動団体が継続的かつ安心・安全に活動ができるよう、with コロナ社会への対応状況を明らかにするために実施した。(対象は、2020年11月5日時点での「藤沢市市民活動支援施設の登録団体」414団体と、「藤沢市内に主な事務所を置くNPO法人」211団体のうち、重複等を除く529団体)

※(3)ア-1及び2指定管理施設(藤沢市市民活動支援施設)事業として実施

③市民活動支援に関する研究

他市NPO支援センターや(一社)ソーシャルコーディネートかながわへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転や市民活動支援に関する研究を行っている。

- ①日時 ①2020年4月1日～4月30日(木) ※3月15日(日) 配布開始  
②2020年11月10日(火)～2021年1月8日(金) ③年間
- ②場所 ①及び②藤沢市内③逗子文化プラザ市民交流センター、かながわ県民活動サポートセンター9階アドバイザー相談窓口
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 市民活動団体および市民

#### ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

市民活動支援力の向上に必要と思われる研修に年間13回参加した。また、インターンシッププログラムを3団体(※)受け入れた。

※(N)アズヴェール藤沢スポーツクラブ、障がいのアナ、(認N)藤沢市民活動推進機構

- ①日時 年間随時
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他

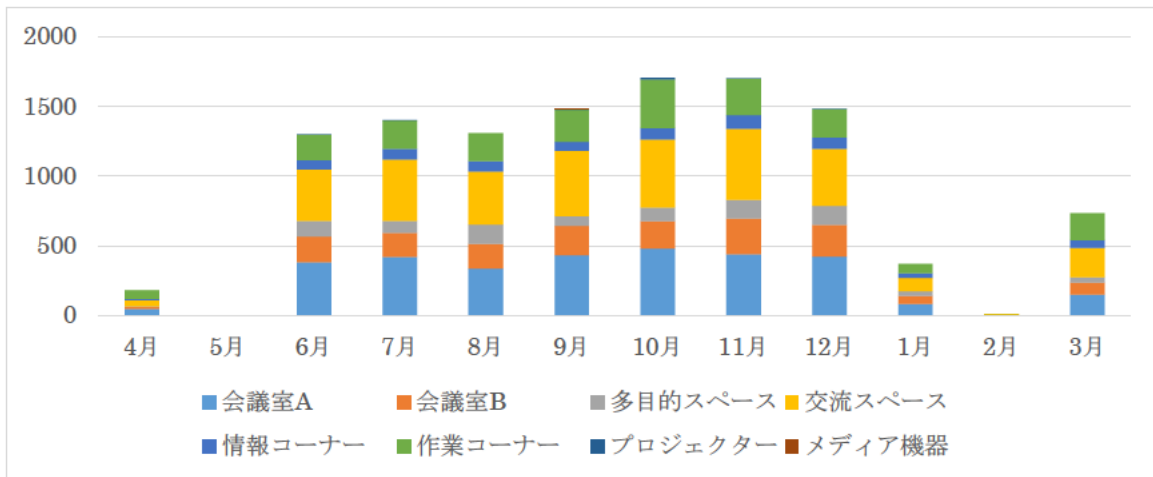
### (3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業

#### ア-1 藤沢市市民活動支援施設 本館：藤沢市市民活動推進センターの管理運営

藤沢市における市民活動支援施設を指定管理者として管理運営を行った。2018年4月1日から2023年3月31日までの5事業年度にわたり、当団体が指定管理者に指定されており、今年度は3年目の管理運営となる。本書冒頭のコメントにある通り、2度の休館期間がある中でも印刷代行等の支援サービスを展開した。

主な業務内容：施設管理業務・団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告(下記表は人数)

- ①日時 年間(開館212日)
- ②場所 市民活動推進センター
- ③従事者人員 15名
- ④受益対象者 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数

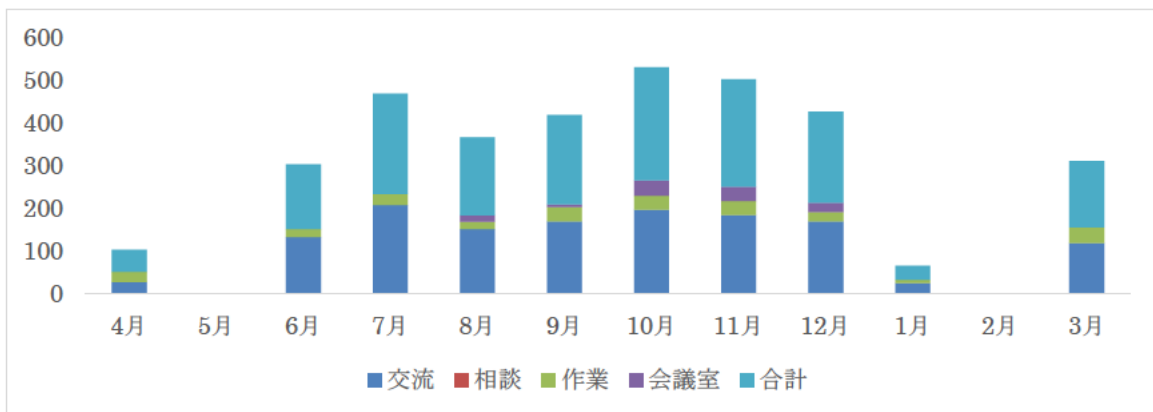
年間延利用者数：11,361人    1日利用平均人数：53.59人  
 年間利用件数   ：4,219件    1日利用平均件数：19.90件

ア-2 藤沢市市民活動支援施設 分館：市民活動プラザむつあいの管理運営

上記「ア」同様に藤沢市市民活動支援施設分館の施設管理運営を行う。休館期間中の対応や利用者の制限については本館と同様である。

主な業務内容：施設管理業務・団体登録業務・フロア管理・作業機材管理（下記表は人数）

- ①日時                   年間（開館210日）
- ②場所                   市民活動プラザむつあい（六会市民センター 2階）
- ③従事者人員           5名
- ④受益対象者           公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人



市民活動プラザむつあい利用者数及び件数

年間延利用者数：1,754人    1日利用平均人数：8.35人  
 年間利用件数   ：965件    1日利用平均件数：4.60件

#### イ シェアオフィス事業（寿ビル 301 号室）

共同オフィス機能を有した施設管理運営業務により、当団体の他、株式会社 1 団体、一般社団法人 1 団体、NPO 法人 2 団体、その他 2 団体が入居して活動をしている。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 2 名
- ④受益対象者 団体（営利・非営利問わず）および市民

#### ウ レンタルスペース事業（寿ビル 201 号室：フジサワラボの管理運営）

コロナ禍において公共施設では対応できない時期があり、団体の活動の場の提供に運営を行った。フジサワラボ使用申込書を作成し、スムーズな貸館運営を目指した。

賃貸料に匹敵する収入はなく、今後の管理に力を発揮できるように努めたい。また機構独自企画によるイベント等も検討したが、コロナ下での会場参加型を断念した。

（利用団体 17 団体、利用件数 237 件 ※使用件数は前年度比 7.65 倍）

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 3 名
- ④受益対象者 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民

#### （4）市民活動の普及啓発および推進事業

##### ア イベント等プロデュース事業

本年度は感染症予防の観点からイベントが中止となるケースが増えたが、代替としてオンラインでのイベント実施が主流になってきたことから、各種イベント等の企画へ参画し、市民参加の推進を図った。その結果、ボランティアやインターンとして主に学生や20代の社会人を中心とした世代への新たな機械提供として、述べ55人の地域参画をサポートした。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 3 名
- ④受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民



参考：参画事業内訳

イベント名	日付	ボランティア数
お話のプロが教える「絵本の音読」 @メールでご案内を送信	毎月第3木曜日	24名
～ビッグウェーブ再集結！～1年前オンラインまつり @オンライン配信	2020年7月23日（木・祝）	2名
プラザ de カフェ バナナ農家の暮らしを知る	2020年8月18日（火）	4名
カカオ栽培から見える世界の流れ	2020年10月3日（土）	2名
湘南ふじさわジャズミーティング	2020年11月7日（土）	7名
クリスマスオンライン交流会 2020	2020年12月20日（日）	2名
みんなの歌をひとつに～オンライン録音会～	2021年1月30日（土）	6名
フジサワアイデアソン～ポストコロナの子どもを取り 巻く環境を考える～	2020年3月18日（木）	5名
社会を知るためのワカモノ×NPO インターンシッププ ログラム成果発表会	2021年3月20日（土）	3名

## イ サポートクラブの運営

幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し、事務局運営を行った。コロナ禍の中、サポーターの関心低下等を抑制するため、2020年7月より「サポートクラブレター」を毎月発行、同年11月28日に交流会「みんな今何している？」を開催した。

また、藤沢市役所本庁舎や湘南台駅地下通路における市民活動団体の紹介パネル展示の作業補助や、支援施設主催の各講座等への参加や記録補助を行った。

サポートクラブ独自企画として、藤沢で活躍するワカモノへの活動支援のため、書き損じハガキ寄贈による寄付活動（ハガキ収集や集計作業含む）「はがきプロジェクト」を行い、495枚のハガキを換金することで21,645円を寄付した。

※サポーター133名、アドバイザー28名（2021年3月31日現在）

- ①日時                   年間
- ②場所                   藤沢市内
- ③従事者人員          3名
- ④受益対象者          市民活動を行っている、又は行おうとする市民

## ウ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A. 「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2020」を行った。また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施している。

A「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」の事務局運営を行った。（参加団体：3 団体、ワカモノインターン：8 名）

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン（※）を募集し、約 5 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターンに対し、活動奨励金を助成する。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市市民活動推進センター協力のもと事業を実施し、オンラインを中心に取り入れて行った。

※高校生：35 時間以上（上限 80 時間）、ワカモノ：55 時間以上（上限 100 時間）

## B 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

学生：6 名（神奈川大学、多摩大学、日本大学、大妻多摩中高）

LITALICO ワークス（横浜戸塚を経由して藤沢や横浜など近隣センターから受け入れ）

受け入れ 3 名 説明会 3 名

おしごとチャレンジ藤沢（運営：(N) ドリームエナジープロジェクト）1 名

- |        |  |
|--------|--|
| ①日時    | 年間   |
| ②場所    | 藤沢市市民活動推進センター、藤沢市市民活動プラザむつあい、各市民活動団体の活動場所等 |
| ③従事者人員 | 10名  |
| ④受益対象者 | 市民活動団体関係者・興味のある市民                          |

## エ かながわ人生 100 歳時代ネットワーク連携事業

定年後のセカンドライフに市民活動の普及や周知は欠かせない。神奈川県では行政、大学、企業、NPO 等が情報を共有・協働するネットワークを構築し、当団体はメンバーとして活動をしている。2020 年度は「この指とまれプロジェクト※」がスタートした。※メンバーがプログラムを企画・提案し、そこにメンバーが協力しプログラムを実施している。

当団体は「現役世代が働きつつも可能な地域活動のスタートアップ研修」の企画と実施を提案し、2018 年度と 2019 年度の 2 年間、県内のモデル企業で実証した支援プログラムをベースに、「参加企業の CSR 部門等と協働した参加団体に適合する研修プログラム」を作成した。本企画は県 HP にて公開され企業等からの申込を随時実施している。

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所等
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 一般市民、地域活動に興味関心のある企業関係者等

#### オ 社会貢献活動の推進および支援事業

前年度に引き続き、社会の利益に資する活動をするものに対し研修事業等の支援を目的に、「六会人材センター（※）運営事業（六会地区郷土づくり推進会議業務委託事業）」を実施した。※地域の中の課題を共に考え、お困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進めることで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。2020年度はコロナ感染対応のため電話やメールでの相談、登録対応を中心に進めた。また、「市民活動プラザむつあい」と連携し活動紹介を実施した。

※2020年度実績：団体登録1件増、サポーター登録者11名増、依頼案件17件、マッチング15件（うち不成立2件含む）、派遣延べ人数250名

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内
- ③従事者人員 3名
- ④受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

#### カ 農福連携マッチング等支援事業

障がい者の就労機会の確保・工賃向上、農業の担い手の確保という課題解決のために農福連携の推進が必要であることから、神奈川県は地域の中間支援組織と協働で農福連携コーディネーター（以下、コーディネーター）養成事業を実施している。（3年間の時限事業の初年度）藤沢地区においては当団体が本事業を担っている。

業務内容：コーディネーター人材育成研修講座、先進事例視察スタディツアーの実施、障がい福祉サービス事業所・社会福祉法人・障がい者を雇用する企業等と、農業者とのマッチングの場づくり、マッチング成立後のコーディネーターの派遣に関する事務

※養成講座修了生 18名。初年度マッチング成立件数は無かったが、今後に向けて名簿の作成や関連情報の収集のため藤沢市農水課協力のもと、市内事例調査等を実施している。

- ①日時 2020年4月1日～2021年3月31日
- ②場所 湘南台公民館、フジサワラボ、プロ雅農園、元気もりもり山森農園、にこにこ農園（農作業委託：（N）さんわーくかぐや）、相原農場
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 農福連携に興味関心のある福祉作業所や農家、一般市民等

## キ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、藤沢市をはじめ、各行政機関の設置する市民活動関連委員会・審議会(※)に参加協力した。

- ①日時 年間
- ②場所 会議等開催場所
- ③従事者人員 4名
- ④受益対象者 一般市民

※参考：関連委員会・審議会等

- 全国
  - ・民間 NPO 支援センター・将来を展望する会
  - ・「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯 (CIS)
  - ・ICT 支援者ネットワークミーティング
- 神奈川県
  - ・神奈川県支援施設 CEO ミーティング
  - ・神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク
  - ・地域ボランティアエアポート連絡会
  - ・かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議
- 藤沢市
  - ・藤沢市市民活動推進委員会
  - ・藤沢市シティプロモーション委員会
  - ・藤沢市情報公開制度運営審議会
  - ・藤沢市生涯学習大学評議会
  - ・藤沢市ワークライフバランス会議
  - ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会
  - ・上記支援委員会内ボランティア等市民参加推進部会
  - ・公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員会
  - ・湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会
  - ・藤沢市社会教育委員会
  - ・藤沢市生涯学習推進委員会
  - ・藤沢市青少年育成委員会
  - ・北部各地区郷土づくり推進会議
  - ・藤沢市青少年問題協議会
  - ・藤沢市民まつり実行委員会
- 他市等
  - ・(仮称) 鎌倉市市民活動推進条例検討会
  - ・横須賀市市民協働審議会
  - ・座間市市民参加審議会
  - ・綾瀬市市民活動推進委員会
  - ・新宿区市民協働拡大委員会
  - ・NPO インターンシップラボ実行委員会

## (5) 市民参加によるまちづくり推進事業

### ア 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業（藤沢市市民活動支援施設事業として実施）

個人・非営利組織・営利組織問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。

仲介者として「協働コーディネーター」を2名設置し、市民活動団体と様々な主体が相互に協調・連携して地域課題の解決への取り組みができるよう、コーディネーションを行った。協力先の開拓(通年)、団体のマッチングと調整(計12回)、事業計画策定の支援(計2回)と、ミライカナエル活動サポート事業の協働コースに係る選考・審査の支援を行った。

(委託事業名：ミライカナエル活動サポート事業コーディネート業務委託)

企業との相談・アドバイスをを行った他、ウスイホーム(株)の発行している情報誌への藤沢地区の情報提供や、(株)伊藤園とのチャリティベンダー(社会貢献型自動販売機)設置サポートは継続して行っている。

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| ①日時    | 年間                     |
| ②場所    | 藤沢市内および近隣              |
| ③従事者人員 | 4名                     |
| ④受益対象者 | 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの |

### イ 地域グループ支援事業

藤沢市高齢者の通いの場事業として「みんなのサロン ゆくり庵」を運営し、様々なプログラムや講座を通して地域の活性化と高齢者がいきいきと暮らせるよう活動を続け、年間延べ352名の利用があった。2020年度も新型コロナウイルスにより閉所せざるを得ない時が続き、2020年4月から6月までは閉所。7月から12月までは時間を短縮するなど、感染予防対策を徹底し開所出来たが、2021年1月より3月迄再び閉所の指示が出た。閉所中でも利用者同士やスタッフと繋がれる様に「Zoom」や「LINEの使い方」等の講座を実施した。なお、藤沢市の事業見直しを鑑み、検討を重ねた結果、2020年度でゆくり庵事業は終了することとなった。

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| ①日時    | 年間(開所日数82日)               |
| ②場所    | 藤沢市藤沢644番地                |
| ③従事者人員 | 6名                        |
| ④受益対象者 | 市民活動を行っている者・興味のある者および一般市民 |

### ウ 「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」 運営事業

オリンピック・パラリンピックを藤沢から盛り上げる「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」の運営を行った。事務局運営の他、情報発信(LINE:51回、メルマガ:41回、広報誌:3回)、団員企画の活動サポート(全13回)、サポーターズミーティングの開催(全6回)、応援団イベント・参加型キャンペーンの実施(全2回)、応援団オリジナルのガイドブック作成等の活動を行った。(委託事業名:「2020 応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局運営等業務委託)

- ①日時 年間
- ②場所 団体事務所、各イベント会場等
- ③従事者人員 5名
- ④受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体

### エ イベント等参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベントを中心に参加支援を行った。

藤沢市民まつりや市内商店会に協力し「Go To 商店街」などに参画し、市民活動団体への参加機会提供に動いたが、緊急事態宣言の影響により中止や延期となった。その代替として、活動のPR動画を制作・披露する機会を作り、市民活動団体15体のPR支援を実施した。

- ①日時 年間
- ②場所 藤沢市内および近隣
- ③従事者人員 2名
- ④受益対象者 市民活動団体およびその関係

## 3 その他

### ア 会議の開催(総会・理事会等)

理事会:2020年5月2日(土) Zoom(オンライン)

2020年6月27日(土) フジサワラボ及び Zoom(オンライン)

通常総会:2020年6月27日(土) フジサワラボ及び Zoom(オンライン)

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 貸借対照表

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金預金	1,319,491	
前払費用	17,100	
未収入金	7,436,744	
<b>流動資産合計</b>		<b>8,773,335</b>
<b>2. 固定資産</b>		
投資その他の資産		
付属設備	1	
差入保証金	30,000	
<b>投資その他の資産計</b>	<b>30,001</b>	
<b>固定資産合計</b>		<b>30,001</b>
<b>資産合計</b>		<b>8,803,336</b>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
短期借入金	6,500,000	
未払金	1,207,057	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	880,700	
前受金	9,600	
預り金	651,818	
<b>流動負債合計</b>		<b>9,319,175</b>
<b>負債合計</b>		<b>9,319,175</b>
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		△ 575,738
当期正味財産増減額		59,899
<b>正味財産合計</b>		<b>△ 515,839</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>8,803,336</b>

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 財産目録

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金預金		
手許現金	129,337	
プラザ現金	64,757	
ゆくり庵現金	10,000	
普通預金 スルガ銀行 湘南台支店	179,001	
普通預金 みずほ銀行 藤沢支店	936,396	
普通預金 横浜銀行 藤沢駅前支店	0	
かながわ信用金庫 藤沢営業所	0	
前払費用	17,100	
未収入金 指定管理料 助成金	7,436,744	
<b>流動資産合計</b>		<b>8,773,335</b>
<b>2. 固定資産</b>		
投資その他の資産		
付属設備(さんぽ庵内装備忘価格)	1	
差入保証金 保証金(長後商店街)	30,000	
<b>固定資産合計</b>		<b>30,001</b>
<b>資産合計</b>		<b>8,803,336</b>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
短期借入金	6,500,000	
未払金(人件費)	1,043,560	
未払金(業務委託費)	20,000	
未払金(印刷製本費)	87,668	
未払金(通信費)	43,632	
未払費用	12,197	
未払法人税等	70,000	
未払消費税	880,700	
前受金	9,600	
預り金	651,818	
<b>流動負債合計</b>		<b>9,319,175</b>
<b>負債合計</b>		<b>9,319,175</b>
<b>正味財産</b>		<b>△ 515,839</b>



法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 活動計算書

2018年4月1日～2019年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
推進機構会費	105,000	105,000
2. 受取寄付金		
推進機構寄付金	186,926	
センター寄付金	3,670	
災害復興支援寄付金	618,510	809,106
3. 受取助成金等		
助成金等	8,840,216	
指定管理料	35,400,000	
委託金等	4,675,484	48,915,700
4. 事業収益		
(1) 団体支援事業収益	2,188,515	
(2) 研究調査情報関連事業収益	21,200	
(3) 支援施設事業収益	4,736,436	
(4) 啓発推進事業収益	2,056,817	
(5) まちづくり事業収益	1,963,360	
(6) 被災地支援事業収益	462,464	11,428,792
4. その他収益		
受取利息	18	
<b>経常収益計</b>		<b>61,258,616</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	29,075,868	
法定福利	3,355,334	
通勤費	1,290,144	
福利厚生費	172,285	
人件費計	<b>33,893,631</b>	
(2) その他経費		
諸謝金	3,698,886	
事務消耗品費	1,089,113	
印刷製本費	1,428,614	
備品修繕費	805,530	
交通費	290,053	
通信費	636,870	
会議費	89,463	
会場費	198,483	
研修費	152,533	
保険料	122,025	
業務委託費	4,636,632	
賃借料	3,641,925	
地代家賃	4,860,000	
水道光熱費	299,333	
渉外費	45,150	
物販原価	2,107,264	
租税公課	1,804,000	
支払寄付金	149,002	
雑費	54,502	
その他経費計	<b>26,109,378</b>	
事業費計		<b>60,003,009</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	180,000	
給料手当等	870,828	
人件費計	<b>1,050,828</b>	
(2) その他経費		
消耗品費	2,530	
通信費	9,861	
交通費	3,976	
会議費	2,780	
賃借料	2,400	
渉外費	30,800	
租税公課	77,700	
雑費	14,833	
その他経費計	<b>144,880</b>	
管理費計		<b>1,195,708</b>
<b>経常費用計</b>		<b>61,198,717</b>
当期正味財産増減額		59,899
前期繰越正味財産額		△ 575,738
次期繰越正味財産額		△ 515,839

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。  
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスを受入れがある場合は、活動計算書に計上しています。本年度は記載ありません。
- (3) ボランティアによる役務の提供  
ボランティアによる役務の提供による資産はありません。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	(1) 団体 支援事業	(2) 研究 調査事業	(3) 支援 施設事業	(4) 啓発 推進事業	(5) まちづくり 事業	(6) その他目的達 成のための事業	事業費合計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	105,000	105,000
2. 受取寄付金	360,000	0	3,670	0	0	258,510	622,180	186,926	809,106
3. 受取助成金等	1,114,292	1,000,000	28,160	1,010,000	5,687,764	0	8,840,216	0	8,840,216
4. 指定管理料	0	0	34,644,951	0	0	0	34,644,951	0	34,644,951
5. 委託金	0	0	0	2,855,127	1,500,000	0	4,355,127	1,075,406	5,430,533
6. 事業収益	2,188,515	21,200	4,736,436	2,056,817	1,963,360	462,464	11,428,792	0	11,428,792
7. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	18	18
<b>経常収益計</b>	<b>3,662,807</b>	<b>1,021,200</b>	<b>39,413,217</b>	<b>5,921,944</b>	<b>9,151,124</b>	<b>720,974</b>	<b>59,891,266</b>	<b>1,367,350</b>	<b>61,258,616</b>
<b>II 経常費用</b>									
(1) <b>人件費</b>									
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000
給料手当	194,286	562,000	25,317,132	533,000	2,469,450	0	29,075,868	870,828	29,946,696
法定福利	23,152	62,746	2,928,534	59,390	281,512	0	3,355,334	0	3,355,334
通勤費	0	0	1,260,264	0	29,880	0	1,290,144	0	1,290,144
福利厚生費	0	0	172,285	0	0	0	172,285	0	172,285
<b>人件費計</b>	<b>217,438</b>	<b>624,746</b>	<b>29,678,215</b>	<b>592,390</b>	<b>2,780,842</b>	<b>0</b>	<b>33,893,631</b>	<b>1,050,828</b>	<b>34,944,459</b>
(2) <b>その他経費</b>									
1 諸謝金	128,000	170,324	1,126,923	771,778	1,501,861	0	3,698,886	0	3,698,886
2 事務消耗品費	4,454	12,774	503,815	82,022	486,048	0	1,089,113	2,530	1,091,643
3 印刷製本費	7,584	71,540	591,565	503,508	254,417	0	1,428,614	0	1,428,614
4 備品修繕費	0	0	351,720	200,000	8,726	245,084	805,530	0	805,530
5 交通費	28,510	6,684	95,138	48,345	109,894	1,482	290,053	3,976	294,029
6 通信運搬費	38,947	14,431	123,218	31,852	426,564	1,858	636,870	9,861	646,731
7 会議費	5,200	2,000	50,293	22,534	9,436	0	89,463	2,780	92,243
8 会場費	2,000	12,960	35,947	110,976	36,600	0	198,483	0	198,483
9 研修費	0	0	131,993	20,540	0	0	152,533	0	152,533
10 保険料	0	0	110,687	11,338	0	0	122,025	0	122,025
11 業務委託費	1,002,960	0	1,257,336	1,798,800	577,536	0	4,636,632	0	4,636,632
12 賃借料	0	0	3,455,733	16,800	153,792	15,600	3,641,925	2,400	3,644,325
13 地代家賃	1,495,000	0	1,685,000	0	1,680,000	0	4,860,000	0	4,860,000
14 水道光熱費	124,147	0	89,702	0	85,484	0	299,333	0	299,333
15 渉外費	11,600	10,000	23,250	300	0	0	45,150	30,800	75,950
16 物販原価	137,702	0	150,234	1,295,149	165,099	359,080	2,107,264	0	2,107,264
17 租税公課	0	0	1,521,400	188,400	94,200	0	1,804,000	77,700	1,881,700
18 支払寄付金	0	0	0	0	0	149,002	149,002	0	149,002
19 雑費	9,180	2,324	26,000	5,982	9,072	1,944	54,502	14,833	69,335
<b>その他経費計</b>	<b>2,995,284</b>	<b>303,037</b>	<b>11,329,954</b>	<b>5,108,324</b>	<b>5,598,729</b>	<b>774,050</b>	<b>26,109,378</b>	<b>144,880</b>	<b>26,254,258</b>
<b>経常費用計</b>	<b>3,212,722</b>	<b>927,783</b>	<b>41,008,169</b>	<b>5,700,714</b>	<b>8,379,571</b>	<b>774,050</b>	<b>60,003,009</b>	<b>1,195,708</b>	<b>61,198,717</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>450,085</b>	<b>93,417</b>	<b>△ 1,594,952</b>	<b>221,230</b>	<b>771,553</b>	<b>△ 53,076</b>	<b>△ 111,743</b>	<b>171,642</b>	<b>59,899</b>

### 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

記載事項はありません。

### 4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

記載事項はありません。

### 5. 使途等が制約された寄付等の内訳

記載事項はありません。

### 6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
さんぽ庵内装	1	0	0	1		
<b>合 計</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>1</b>

### 7. 借入金を増減内訳

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	3,000,000	4,200,000	700,000	6,500,000

### 8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科 目	財務諸表に計上された金額	内、役員及び近親者との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
報酬	180,000	180,000	0
短期借入金	4,200,000	3,500,000	0

# 監 査 報 告 書

2019年6月9日

特定非営利活動法人

藤沢市民活動推進機構

理事長 雫 二公雄 様

監 事 田中 榮

監 事 大縫 光

特定非営利活動促進法第18条並びに定款第15条第4項(1)(2)に基づき、特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構の2018年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)事業報告及び計算書類(活動計算書 貸借対照表 財産目録)監査に当たっては、帳簿 証拠書類等の閲覧 照合 説明を求めました。

監査の結果、当法人の業務は、法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO 法人会計基準並びに一般に公正妥当とみとめられる会計の方法に準拠して、適正に処理されており重大な瑕疵は見当たりませんでした。

事業報告書は法人の業務執行状況を、計算書類は2019年3月31日時点での財産状況を適正に表示しているものと認めます。

監査実施日・場所

2019年6月9日 藤沢市市民活動推進センター

以 上

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 貸借対照表

2020年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金及び預金	1,009,615	
立替金	1,800	
前払費用	17,100	
未収入金	10,447,028	
<b>流動資産合計</b>		11,475,543
<b>2. 固定資産</b>		
投資その他の資産		
付属設備	1	
差入保証金	30,000	
<b>投資その他の資産計</b>	30,001	
<b>固定資産合計</b>		30,001
<b>資産合計</b>		11,505,544
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
短期借入金	2,000,000	
未払金	3,768,922	
未払消費税等	1,336,900	
預り金	53,951	
<b>流動負債合計</b>		7,159,773
<b>2. 固定負債</b>		
長期借入金	5,850,000	
<b>固定負債合計</b>		5,850,000
<b>負債合計</b>		13,009,773
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		△ 515,839
当期正味財産増減額		△ 988,390
<b>正味財産合計</b>		△ 1,504,229
<b>負債及び正味財産合計</b>		11,505,544

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 財産目録

2020年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1. 流動資産</b>		
現金預金		
手許現金	66,035	
プラザ現金	60,631	
ゆくり庵現金	7,800	
普通預金 スルガ銀行 湘南台支店	271,350	
普通預金 みずほ銀行 藤沢支店	603,799	
普通預金 横浜銀行 藤沢駅前支店	0	
かながわ信用金庫 藤沢営業所	0	
立替金	1,800	
前払費用	17,100	
未収入金 指定管理料 助成金	10,447,028	
<b>流動資産合計</b>		11,475,543
<b>2. 固定資産</b>		
投資その他の資産		
付属設備(さんぽ庵内装備忘価格)	1	
差入保証金 保証金(長後商店街)	30,000	
<b>固定資産合計</b>		30,001
<b>資産合計</b>		11,505,544
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
短期借入金	2,000,000	
未払金(人件費)	2,855,836	
未払い費用	434,964	
未払消費税等	1,336,900	
預り金	53,951	
未払通勤費	153,198	
未払法定福利費	307,256	
未払講師等謝金	10,000	
未払印刷製本費	7,668	
<b>流動負債合計</b>		7,159,773
<b>2. 固定負債</b>		
長期借入金	5,850,000	
<b>固定負債合計</b>		5,850,000
<b>負債合計</b>		13,009,773
<b>正味財産</b>		△ 1,504,229

活動計算書

2019年4月1日～2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
推進機構会費	125,000	125,000
2. 受取寄付金		
推進機構寄付金	1,845,592	
センター寄付金	1,744	
災害復興支援寄付金	96,460	1,943,796
3. 受取助成金等		
助成金等	5,788,568	
指定管理料	35,758,103	
委託金等	7,622,744	49,169,415
4. 事業収益		
(1) 団体支援事業収益	1,389,703	
(2) 研究調査情報関連事業収益	110,000	
(3) 支援施設事業収益	5,676,947	
(4) 啓発推進事業収益	2,586,495	
(5) まちづくり事業収益	1,412,244	11,175,389
4. その他収益		
雑収入	8,933	
受取利息	27	
<b>経常収益計</b>		<b>62,422,560</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	30,088,713	
法定福利	4,508,848	
通勤費	934,234	
福利厚生費	63,537	
<b>人件費計</b>	<b>35,595,332</b>	
(2) その他経費		
諸謝金	3,252,331	
事務消耗品費	2,318,691	
印刷製本費	2,130,869	
備品修繕費	176,080	
交通費	303,792	
通信運搬費	703,547	
会議費	37,971	
会場費	354,460	
研修費	629,980	
保険料	120,906	
業務委託費	3,949,230	
賃借料	2,651,608	
地代家賃	5,038,500	
水道光熱費	259,961	
渉外費	41,100	
物販原価	1,361,349	
租税公課	2,238,800	
支払寄付金	1,950	
雑費	55,962	
<b>その他経費計</b>	<b>25,627,087</b>	
<b>事業費計</b>		<b>61,222,419</b>
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	180,000	
給料手当等	1,537,000	
<b>人件費計</b>	<b>1,717,000</b>	
(2) その他経費		
消耗品費	35,647	
通信費	71,874	
交通費	1,700	
会議費	12,796	
地代家賃	293,820	
保険料	13,860	
渉外費	27,000	
租税公課	4,263	
支払手数料	1,332	
雑費	9,239	
<b>その他経費計</b>	<b>471,531</b>	
<b>管理費計</b>		<b>2,188,531</b>
<b>経常費用計</b>		<b>63,410,950</b>
当期正味財産増減額		△ 988,390
前期繰越正味財産額		△ 515,839
次期繰越正味財産額		△ 1,504,229

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。  
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスを受入れがある場合は、活動計算書に計上しています。本年度は記載ありません。
- (3) ボランティアによる役務の提供  
ボランティアによる役務の提供による資産はありません。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	(1) 団体 支援事業	(2) 研究 調査事業	(3) 支援 施設事業	(4) 啓発 推進事業	(5) まちづくり 事業	事業費合計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>								
1 受取会費	0	0	0	0	0	0	125,000	125,000
2 受取寄付金	96,460	0	1,744	0	0	98,204	1,845,592	1,943,796
3 受取助成金等	100,000	200,484	0	1,787,710	3,700,374	5,788,568	0	5,788,568
4 指定管理料	0	0	35,758,103	0	0	35,758,103	0	35,758,103
5 委託金	0	0	0	2,761,294	4,861,450	7,622,744	0	7,622,744
6 事業収益	1,389,703	110,000	5,676,947	2,586,495	1,412,244	11,175,389	0	11,175,389
7 その他収益	0	0	0	0	0	0	8,960	8,960
<b>経常収益計</b>	<b>1,586,163</b>	<b>310,484</b>	<b>41,436,794</b>	<b>7,135,499</b>	<b>9,974,068</b>	<b>60,443,008</b>	<b>1,979,552</b>	<b>62,422,560</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費								
役員報酬	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000
給料手当	0	0	25,042,212	1,408,522	3,637,979	30,088,713	1,440,000	31,528,713
法定福利	0	0	4,253,188	0	255,660	4,508,848	0	4,508,848
通勤費	0	0	903,840	314	30,080	934,234	0	934,234
福利厚生費	0	0	63,537	0	0	63,537	97,000	160,537
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>30,262,777</b>	<b>1,408,836</b>	<b>3,923,719</b>	<b>35,595,332</b>	<b>1,717,000</b>	<b>37,312,332</b>
(2) その他経費								
1 諸謝金	0	0	1,051,984	1,064,907	1,135,440	3,252,331	0	<b>3,252,331</b>
2 事務消耗品費	22,853	9,380	2,041,235	68,217	177,006	2,318,691	35,647	<b>2,354,338</b>
3 印刷製本費	31,180	1,720	1,617,280	101,805	378,884	2,130,869	0	<b>2,130,869</b>
4 備品修繕費	0	0	155,192	20,888	0	176,080	0	<b>176,080</b>
5 交通費	118,970	2,320	73,359	42,046	67,097	303,792	1,700	<b>305,492</b>
6 通信運搬費	21,901	11,644	134,873	56,384	478,745	703,547	71,874	<b>775,421</b>
7 会議費	0	0	100	6,661	31,210	37,971	12,796	<b>50,767</b>
8 会場費	0	16,200	78,180	131,480	128,600	354,460	0	<b>354,460</b>
9 研修費	0	0	28,980	1,000	600,000	629,980	0	<b>629,980</b>
10 保険料	0	0	89,464	9,076	22,366	120,906	13,860	<b>134,766</b>
11 業務委託費	654,000	0	1,324,222	1,802,400	168,608	3,949,230	0	<b>3,949,230</b>
12 賃借料	0	0	2,502,928	4,800	143,880	2,651,608	0	<b>2,651,608</b>
13 地代家賃	1,584,000	0	1,774,500	0	1,680,000	5,038,500	293,820	<b>5,332,320</b>
14 水道光熱費	134,315	0	53,551	0	72,095	259,961	0	<b>259,961</b>
15 渉外費	15,020	0	20,080	6,000	0	41,100	27,000	<b>68,100</b>
16 物販原価	18,036	0	15,390	1,296,637	31,286	1,361,349	0	<b>1,361,349</b>
17 租税公課	51,666	13,163	1,715,009	187,765	271,197	2,238,800	4,263	<b>2,243,063</b>
18 支払寄付金	1,950	0	0	0	0	1,950	0	<b>1,950</b>
19 雑費	5,452	0	36,638	3,240	10,632	55,962	10,571	<b>66,533</b>
<b>その他経費計</b>	<b>2,659,343</b>	<b>54,427</b>	<b>12,712,965</b>	<b>4,803,306</b>	<b>5,397,046</b>	<b>25,627,087</b>	<b>471,531</b>	<b>26,098,618</b>
<b>経常費用計</b>	<b>2,659,343</b>	<b>54,427</b>	<b>42,975,742</b>	<b>6,212,142</b>	<b>9,320,765</b>	<b>61,222,419</b>	<b>2,188,531</b>	<b>63,410,950</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,073,180</b>	<b>256,057</b>	<b>△ 1,538,948</b>	<b>923,357</b>	<b>653,303</b>	<b>△ 779,411</b>	<b>△ 208,979</b>	<b>△ 988,390</b>

### 3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

記載事項はありません。

### 4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

記載事項はありません。

### 5. 使途等が制約された寄付等の内訳

記載事項はありません。

### 6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額
有形固定資産					
さんぽ庵内装	1	0	0	1	
<b>合 計</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>

### 7. 借入金の増減内訳

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	6,500,000	650,000	5,850,000
短期借入金	6,500,000	2,000,000	6,500,000	2,000,000

### 8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科 目	財務諸表に計上された金額	内、役員及び近親者との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
報酬	180,000	180,000	0
長期借入金	5,850,000	5,850,000	0
短期借入金	2,000,000	2,000,000	0

# 監 査 報 告 書

2020年6月25日

特定非営利活動法人

藤沢市民活動推進機構

理事長 雫 二公雄 様

監 事 田中 榮進

監 事 大縫 光秀

特定非営利活動促進法第18条並びに定款第15条第4項(1)(2)に基づき、特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構の2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)事業報告及び計算書類(活動計算書 貸借対照表 財産目録)監査に当たっては、帳簿 証拠書類等の閲覧 照合 説明を求めました。

監査の結果、当法人の業務は、法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO 法人会計基準並びに一般に公正妥当とみとめられる会計の方法に準拠して、適正に処理されており重大な瑕疵は見当たりませんでした。

事業報告書は法人の業務執行状況を、計算書類は2020年3月31日時点での財産状況を適正に表示しているものと認めます。

以 上



法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 貸借対照表

2021年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金及び預金	7,205,321		
未収入金	4,856,150		
<b>流動資産合計</b>		12,061,471	
<b>2. 固定資産</b>			
投資その他の資産			
付属設備	1		
差入保証金	0		
<b>投資その他の資産計</b>	1		
<b>固定資産合計</b>		1	
<b>資産合計</b>			12,061,472
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	0		
未払金	5,620,122		
未払消費税等	1,483,700		
前受金	7,200		
預り金	103,154		
<b>流動負債合計</b>		7,214,176	
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金	4,550,000		
<b>固定負債合計</b>		4,550,000	
<b>負債合計</b>			11,764,176
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		△ 1,504,229	
当期正味財産増減額		1,801,525	
<b>正味財産合計</b>			297,296
<b>負債及び正味財産合計</b>			12,061,472

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 財産目録

2021年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
手許現金	38,922		
プラザ現金	39,637		
普通預金 スルガ銀行 湘南台支店	559,418		
普通預金 みずほ銀行 藤沢支店	6,567,344		
普通預金 横浜銀行 藤沢駅前支店	0		
かながわ信用金庫 藤沢営業所	0		
未収入金 指定管理料 助成金	4,856,150		
<b>流動資産合計</b>		12,061,471	
<b>2. 固定資産</b>			
投資その他の資産			
付属設備(さんぽ庵内装備忘価格)	1		
差入保証金 保証金(長後商店街)	0		
<b>固定資産合計</b>		1	
<b>資産合計</b>			12,061,472
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	0		
未払金(人件費)	4,022,219		
未払い費用	1,418,383		
未払消費税等	1,483,700		
預り金	103,154		
未払通勤費	149,520		
前受金	7,200		
未払講師等謝金	30,000		
<b>流動負債合計</b>		7,214,176	
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金	4,550,000		
<b>固定負債合計</b>		4,550,000	
<b>負債合計</b>			11,764,176
<b>正味財産</b>			297,296

法人名： 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

## 活動計算書

2020年4月1日～2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
推進機構会費	135,000		
		135,000	
2. 受取寄付金			
推進機構寄付金	1,357,093		
センター寄付金	23,795		
災害復興支援寄付金	109,917		
		1,490,805	
3. 受取助成金等			
助成金等	4,866,000		
指定管理料	36,169,963		
委託金等	12,715,942		
		53,751,905	
4. 事業収益			
(1) 団体支援事業収益	2,208,509		
(2) 研究調査情報関連事業収益	0		
(3) 支援施設事業収益	4,604,694		
(4) 啓発推進事業収益	1,281,047		
(5) まちづくり事業収益	131,600		
		8,225,850	
4. その他収益			
雑収入	12,248		
受取利息	69		
<b>経常収益計</b>			63,615,877
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	32,176,866		
法定福利	3,379,679		
通勤費	826,508		
福利厚生費	91,085		
<b>人件費計</b>	<b>36,474,138</b>		
(2) その他経費			
諸謝金	3,595,164		
事務消耗品費	665,840		
印刷製本費	2,215,362		
備品修繕費	100,576		
交通費	278,824		
通信運搬費	1,092,526		
会議費	35,699		
会場費	294,510		
研修費	32,126		
保険料	101,230		
業務委託費	2,990,811		
賃借料	3,252,686		
図書費	199,980		
地代家賃	5,307,540		
水道光熱費	292,800		
渉外費	22,150		
物販原価	673,976		
租税公課	2,607,100		
支払寄付金	353,350		
雑費	41,618		
<b>その他経費計</b>	<b>24,153,868</b>		
<b>事業費計</b>		60,628,006	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	180,000		
給料手当等	553,439		
<b>人件費計</b>	<b>733,439</b>		
(2) その他経費			
消耗品費	21,927		
交通費	4,973		
通信運搬費	167,222		
会議費	12,224		
渉外費	105,510		
租税公課	72,000		
雑費	69,051		
<b>その他経費計</b>	<b>452,907</b>		
<b>管理費計</b>		1,186,346	
<b>経常費用計</b>			61,814,352
当期正味財産増減額			1,801,525
前期繰越正味財産額			△ 1,504,229
次期繰越正味財産額			297,296

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。  
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスを受入れがある場合は、活動計算書に計上しています。本年度は記載ありません。
- (3) ボランティアによる役務の提供  
ボランティアによる役務の提供による資産はありません。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	(1) 団体 支援事業	(3) 支援 施設事業	(4) 啓発 推進事業	(5) まちづくり 事業	事業費合計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>							
1 受取会費	0	0	0	0	0	135,000	135,000
2 受取寄付金	480,917	203,795	234,686	150	919,548	571,257	1,490,805
3 受取助成金等	0	250,000	0	2,616,000	2,866,000	2,000,000	4,866,000
4 事業委託金	5,000,000	0	2,440,942	5,275,000	12,715,942	0	12,715,942
5 指定管理料	0	36,169,963	0	0	36,169,963	0	36,169,963
7 事業収益	2,208,509	4,604,694	1,281,047	131,600	8,225,850	0	8,225,850
8 その他収益	0	0	0	0	0	12,317	12,317
<b>経常収益計</b>	<b>7,689,426</b>	<b>41,228,452</b>	<b>3,956,675</b>	<b>8,022,750</b>	<b>60,897,303</b>	<b>2,718,574</b>	<b>63,615,877</b>
<b>II 経常費用</b>							
(1) <b>人件費</b>							
役員報酬	0	0	0	0	0	180,000	180,000
給料手当	2,468,400	23,759,373	1,683,305	4,265,788	32,176,866	0	32,176,866
法定福利	0	3,379,679	0	0	3,379,679	0	3,379,679
通勤費	0	789,408	0	37,100	826,508	0	826,508
福利厚生費	0	91,085	0	0	91,085	553,439	644,524
<b>人件費計</b>	<b>2,468,400</b>	<b>28,019,545</b>	<b>1,683,305</b>	<b>4,302,888</b>	<b>36,474,138</b>	<b>733,439</b>	<b>37,207,577</b>
(2) <b>その他経費</b>							
1 諸謝金	1,225,000	1,729,804	242,980	397,380	3,595,164	0	3,595,164
2 事務消耗品費	57,959	533,610	54,234	20,037	665,840	21,927	687,767
3 印刷製本費	165,135	1,958,845	66,834	24,548	2,215,362	0	2,215,362
4 備品修繕費	41,580	58,996	0	0	100,576	0	100,576
5 交通費	47,562	53,533	172,693	5,036	278,824	4,973	283,797
6 通信運搬費	248,633	344,739	14,126	485,028	1,092,526	167,222	1,259,748
7 会議費	29,060	804	0	5,835	35,699	12,224	47,923
8 会場費	0	38,480	10,000	246,030	294,510	0	294,510
9 研修費	0	25,790	6,336	0	32,126	0	32,126
10 保険料	0	101,230	0	0	101,230	0	101,230
11 業務委託費	928,940	1,274,845	496,000	291,026	2,990,811	0	2,990,811
12 貸借料	15,600	3,187,609	9,800	39,677	3,252,686	0	3,252,686
13 図書費	0	199,980	0	0	199,980	0	199,980
14 地代家賃	0	3,486,880	0	1,820,660	5,307,540	0	5,307,540
15 水道光熱費	237,542	0	0	55,258	292,800	0	292,800
16 渉外費	22,150	0	0	0	22,150	105,510	127,660
17 物販原価	6,724	5,225	633,770	28,257	673,976	0	673,976
18 租税公課	298,120	1,816,400	194,460	298,120	2,607,100	72,000	2,679,100
19 支払寄付金	353,350	0	0	0	353,350	0	353,350
20 雑費	0	28,642	12,976	0	41,618	69,051	110,669
<b>その他経費計</b>	<b>3,677,355</b>	<b>14,845,412</b>	<b>1,914,209</b>	<b>3,716,892</b>	<b>24,153,868</b>	<b>452,907</b>	<b>24,606,775</b>
<b>経常費用計</b>	<b>6,145,755</b>	<b>42,864,957</b>	<b>3,597,514</b>	<b>8,019,780</b>	<b>60,628,006</b>	<b>1,186,346</b>	<b>61,814,352</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,543,671</b>	<b>△ 1,636,505</b>	<b>359,161</b>	<b>2,970</b>	<b>269,297</b>	<b>1,532,228</b>	<b>1,801,525</b>

### 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

記載事項はありません。

### 4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

記載事項はありません。

### 5. 使途等が制約された寄付等の内訳

記載事項はありません。

### 6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額
有形固定資産					
さんば庵内装	1	0	0	1	
<b>合 計</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>

### 7. 借入金の増減内訳

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	5,850,000	0	1,300,000	4,550,000
短期借入金	2,000,000	0	2,000,000	0

### 8. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科 目	財務諸表に計上された金額	内、役員及び近親者との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
報酬	180,000	180,000	0
長期借入金	4,550,000	4,550,000	0
短期借入金	0	0	0

# 監 査 報 告 書

2021年5月29日

特定非営利活動法人

藤沢市民活動推進機構

理事長 手塚 明美 様

監 事 田中 榮

監 事 大縫 光

特定非営利活動促進法第18条並びに定款第15条第4項(1)(2)に基づき、特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構の2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)事業報告及び計算書類(活動計算書 貸借対照表 財産目録)監査に当たっては、帳簿 証拠書類等の閲覧 照合 説明を求めました。

監査の結果、当法人の業務は、法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準並びに一般に公正妥当とみとめられる会計の方法に準拠して、適正に処理されており重大な瑕疵は見当たりませんでした。

事業報告書は法人の業務執行状況を、計算書類は2021年3月31日時点での財産状況を適正に表示しているものと認めます。

以 上